

No.	団体名 局・課名	修正前 ページ	修正後 ページ	現行記載	修正意見	修正理由	対応案
1	津島市	2	2	(1)2行目 5年間に取組む施策 (1)5行目 今後取組むべき (2)2行目 交通分野で取組む施策	5年間に取組む施策 今後取組むべき 交通分野で取組む施策	動詞は「取組む」の表記に統一するため ※資料3 No.370より引用	前資料3 No.370を改め、動詞は「取組む」の表記に統一
2	津島市	3	3	(2)2行目 (コミュニティバス、デマンド型交通等)	(コミュニティバス、デマンド型交通等)	P72や用語集には「デマンド交通」と記載されているため	意見のとおり修正
3	津島市	3	3	(2)市町村間交通の【位置付け】 市町村境界を超える移動	市町村境界を超える移動	誤字脱字等	意見のとおり修正
4	津島市	4	4	2行目 重点的に取り組む	重点的に取り組む	動詞は「取組む」の表記に統一するため ※資料3 No.370より引用	前資料3 No.370を改め、動詞は「取組む」の表記に統一
5	津島市	7	7	1.地域特性（以下略） 2.公共交通（以下略） 3.移動実態（以下略） 4.公共交通（以下略） 5.未来に向（以下略）	1 地域特性（以下略） 2 公共交通（以下略） 3 移動実態（以下略） 4 公共交通（以下略） 5 未来に向（以下略）	P1では、番号の次にピリオド（.）がなく、次ページ以降の大見出しの横にもピリオドがないことから、削除したほうがよいと思うため	意見のとおり修正
6	蟹江町	8	8	①県全体での人口推移 ■愛知県の人口の推移と将来予測値	・1980年～2010年の人口は国勢調査の実績値を採用しているが、2015年と2020年の人口には不詳補完値を採用しているのはなぜか。また、不詳補完値とはどのような計算をしたものか教えていただきたい。 ・実績値と不詳補完値を使い分けている理由について教えていただきたい。		不詳補完値について注釈を補記
7	蟹江町	9	9	②地域別・市町村別の人口推移 ■市区町村別の将来人口の増減率（2020年→2040年の変化）	・蟹江町の増減率が10%～20%減少となっているが、2015年の国勢調査確定値では9%減の推計となる。どのような推計値を使って計算したのか教えていただきたい。		不詳補完値について注釈を補記
8	津島市	11	11	3行目 WHO（世界保健機関）の定める超高齢社会21%以上となっています	WHO（世界保健機関）の定める超高齢社会の基準である高齢化率21%以上となっています	文脈的に修正したほうがよいと思うため	WHO（世界保健機関）の定める基準による超高齢社会（高齢化率21%以上）に修正
9	尾張旭市	15	15	尾張旭市の表記が鉄道駅の表示に重なっており、鉄道路線が見えない状況となっている。	尾張旭市の表記を上下どちらにずらし、鉄道駅の表示が見えるように修正する。	修正を実施した方が、より県民に分かりやすい資料となるように感じるため。	意見のとおり修正
10	観光コンベンション局	16	16	※観光入込客数は、ビジネス目的兼観光を含む 出典：愛知県観光入込客統計	※観光入込客数は、ビジネス目的兼観光を含む を取る		意見のとおり修正
11	観光コンベンション局	16	16	出典：観光レクリエーション利用者統計参考資料（2018年、2022年）	出典：観光レクリエーション利用者統計参考資料（2019年、2022年）		意見のとおり修正
12	航空空港課	16	16	出典：観光レクリエーション利用者統計参考資料（2018年、2022年）	出典：観光レクリエーション利用者統計参考資料（2019年、2022年）	出典年が誤っているため	
13	津島市	16	16	出展：観光レクリエーション利用者統計参考資料（2018年、2022年）	出展：観光レクリエーション利用者統計参考資料（2019年、2022年）	表が2019年となっているため	
14	津島市	18	16	4行目 岡崎、刈谷、豊田、安城、知立等	岡崎、刈谷、豊田、安城、知立等	P58の表記と統一するため	
15	津島市	19	19	6行目 名古屋・静岡に繋がる鉄道軸と（中略）豊橋を中心とした（以下略）	名古屋・静岡に繋がる鉄道軸と（中略）豊橋を中心とした（以下略）	P58の表記と統一するため	意見のとおり修正
16	あま市	23	23	不明	正しい表記に修正する	表中の字が重なっているため	配布用にPDF化した際に文字化けしたと考えられます。
17	津島市	23.31.32.33 .57.58.60	23.31.32.33 .57.58.60	表の文字	文字が重なって読めないため、修正したほうがよいと思います。	文字が読めないため	今後は配布もWord版に統一します。
18	豊橋市	23	23	豊橋市内線	市内線		意見のとおり修正
19	豊橋市	24	24	■愛知県の路線バスの輸送人員の推移 グラフ吹き出し「2 近年では～」	■愛知県の路線バスの輸送人員の推移 グラフ吹き出し「近年では～」（2は不要）		意見のとおり修正
20	津島市	24	24	2行目 1975年 3行目 2011年以降	1975年度 2011年度以降	グラフ横軸が「年度」になっているため	意見のとおり修正
21	小牧市	24	24	右下図の題名■コミュニティバスの利用者数の推移（2022年）	図の内容と合わせた題名に変更	図の内容と題名が異なる	「■コミュニティバスを運行する市町村数（2022年）」に修正
22	津島市	26	26	②A国庫補助（地域公共交通確保維持改善事業費補助金）	グラフ横軸の単位（年または年度）がないため、追記したほうがよいと思います。 また、「年」表記と「年度」表記が混在していますが、同一データをもとに作成している場合は、「年」もしくは「年度」に統一したほうがよいと思います。	表記を統一するため	意見のとおり修正
23	津島市	30	30	4行目以降 下図の8エリア（名古屋地域、東三河地域は生活圏、公共交通整備状況等を考慮し2エリアに分割）に分けて設定し、調査しました。 各エリアでの特性を中心に分析するため、各エリアは人口按分ではなく（以下略）	下図の8地区（名古屋地区、東三河地区は生活圏、公共交通整備状況等を考慮し2地区に分）に分けて設定し、調査しました。 各地区での特性を中心に分析するため、各地区は人口按分ではなく（以下略）	「尾張・西三河・東三河」は地域、地域内の「尾張・名古屋・知多・豊田・西三河・東三河」は地区に統一するため ※資料3 No.63より引用	意見のとおり修正
24	津島市	31	31	1行目 居住地域別に	居住地域別に	「尾張・西三河・東三河」は地域、地域内の「尾張・名古屋・知多・豊田・西三河・東三河」は地区に統一するため ※資料3 No.63より引用	意見のとおり修正
25	小牧市	31.32.58. 60	31.32.58. 60	表の左列の文字	文字の重なりを修正	文字が重なっている	配布用にPDF化した際に文字化けしたと考えられます。
26	春日井市	31～34	31～34		表の項目の文字修正	文字が重なって読めない	今後は配布もWord版に統一します。
27	あま市	31～33	31～33	不明	正しい表記に修正する	表中の字が重なっているため	
28	江南市	31～33	31～33		表中（左）記載が不鮮明		
29	尾張旭市	32～33	32～33		表中左側の表記が、文字化けしてしまっている状況となっている。	表記を修正する。	修正を実施した方が、より県民に分かりやすい資料となるように感じるため。
30	愛知県商工会議所連合会	31.32.33.58. .60	31.32.33.58. .60	表の左端の列の文字が重なっている	表記の修正をお願いします	表の左端の列の文字が重なって読めないため	
31	津島市	32	32	2行目 それ以外の地域では 3行目 居住地域に関わらず	それ以外の地区では 居住地区に関わらず	資料3 No.63を踏まえると、ここでは、地域別ではなく地区別に分析しており、「地区」と表記したほうがよいと思うため	意見のとおり修正
32	津島市	33	33	2行目 地域を問わず	地区を問わず	資料3 No.63を踏まえると、ここでは、地域別ではなく地区別に分析しており、「地区」と表記したほうがよいと思うため	意見のとおり修正
33	津島市	34	34	3行目 他地域では	他地区では	資料3 No.63を踏まえると、ここでは、地域別ではなく地区別に分析しており、「地区」と表記したほうがよいと思うため	意見のとおり修正
34	津島市	34	34	9行目 東三河（北）では	東三河地区（北）では	表中の縦軸の表記を統一するため	意見のとおり修正
35	津島市	34	34	4・6～7行目 「月に数回」「年に数回」	「月に数回程度」「年に数回程度」	表中の凡例に表記を統一するため	意見のとおり修正
36	津島市	35	35	3行目 地域別では、 5行目 名古屋市内を除き地域の	地区別では、 名古屋市内を除き地区の	資料3 No.63を踏まえると、ここでは、地域別ではなく地区別に分析しており、「地区」と表記したほうがよいと思うため	意見のとおり修正
37	津島市	36	36	3行目 地域を問わず、	地区を問わず、	資料3 No.63を踏まえると、ここでは、地域別ではなく地区別に分析しており、「地区」と表記したほうがよいと思うため	意見のとおり修正
38	津島市	37	37	小見出し 地域にとっての「中心的な場所」としてイメージする場所 1行目 県内各地域について 2行目 豊田地域、東三河地域（北・南） 6行目 これらの駅は地域の中心的な場所	地区にとっての「中心的な場所」としてイメージする場所 県内各地区について 豊田地区、東三河地区（北・南） これらの駅は地区の中心的な場所	資料3 No.63を踏まえると、ここでは、地域別ではなく地区別に分析しており、「地区」と表記したほうがよいと思うため	意見のとおり修正
39	豊田市	37	37	豊田駅周辺	豊田市駅・新豊田駅周辺	駅名称として豊田駅が存在せず、豊田市駅（名古屋鉄道）と新豊田駅（愛知環状鉄道）が正式名称となります。	アンケートでは「豊田市駅・新豊田駅周辺」を「豊田駅周辺」として表現していません。他も同じ扱いです。
40	名古屋鉄道	37	37	尾張地区は「一宮駅周辺」、豊田地区は「豊田駅周辺」、西三河地区は「岡崎駅周辺」、	尾張地区は「尾張一宮駅・名鉄一宮駅周辺」、豊田地区は「豊田市駅・新豊田駅周辺」、西三河地区は「豊田地区（北）」	アンケートへの回答なので修正がしにくいと思いますが、「一宮駅」と「豊田駅」が存在しないので、気になりました。特に、豊田に関しては、P54には「豊田地区では「豊田市駅・新豊田駅周辺」、・・・を中心的な場所」という表現があるので統制を取る必要があるかなと感じます。	次の注釈を追記 「中心的な場所」に複数の駅が存在するため「駅周辺」は個別の駅を意味しない。
41	津島市	38	38	2・3・4行目 東三河（北）	東三河地区（北）	他のページでは、東三河地区（北）と記載しており、表記を統一するため	意見のとおり修正
42	津島市	38	38	表中縦軸	「地区」を追加	他のページでは、●●地区と記載しており、表記を統一するため	意見のとおり修正
43	津島市	39	39	1行目 どの地域でも差異はなく、	どの地区でも差異はなく、	資料3 No.63を踏まえると、ここでは、地域別ではなく地区別に分析しており、「地区」と表記したほうがよいと思うため	意見のとおり修正
44	津島市	40	40	(5)4行目 5) 環境負荷低減、6) まちの経済活性化	5) 環境負荷の低減、6) まちの経済の活性化	表中の文言と表記を統一するため	意見のとおり修正
45	津島市	40	40	(6)3行目 東三河地区で高くなっています。 (6)7行目 特に東三河（北）では	東三河地区（北・南）で高くなっています。 特に東三河地区（北）では	P37で「東三河地区（北・南）」の表記があり、それと統一するため	意見のとおり修正
46	津島市	41	41	①3行目 東三河（北）については ②6行目 東三河（北）では	東三河地区（北）については 東三河地区（北）では	他のページでは、東三河地区（北）と記載しており、表記を統一するため	意見のとおり修正
47	津島市	41	41	②1行目 「とくに不便を感じない」 ②4行目 「バスを使うと時間がかかる」	「とくに不便を感じない」 「バスを使うと時間がかかる」	表中の文言と表記を統一するため	意見のとおり修正
48	津島市	41	41	①②表の上から2行目、右から1・2列目 北 南	（北）（南）	他のページでは、北と南には括弧（）がついており、表記を統一するため	意見のとおり修正
49	津島市	42	42	②2行目 その他地域では	その他地区では	資料3 No.63を踏まえると、ここでは、地域別ではなく地区別に分析しており、「地区」と表記したほうがよいと思うため	「その他地区」に修正
50	津島市	43	43	1行目 東三河地区（南・北）	東三河地区（北・南）	他のページでは、（南・北）ではなく（北・南）の順で記載されており、表記を統一するため	意見のとおり修正

No.	団体名 局・課名	修正前 ページ	修正後 ページ	現行記載	修正意見	修正理由	対応案
51	津島市	43	43	⑨)中見出し 公共交通利用時の支払い方法・情報収集方法 ⑩)小見出し 公共交通利用時の支払方法	「支払い方法」と「支払方法」が混在しているため、どちらかに統一したほうがよいと思います。	表記を統一するため	「支払方法」に統一
52	津島市	43,44	43,44	【地域別】【年齢別】公共交通利用時の支払方法グラフ 横軸 【地域別】【年齢別】公共交通利用時の情報収集方法グラフ 横軸	(回答比率)を追加(2カ所) 単位(%)を追加(ex.0%,10%,20%)	他のページでは、横軸の左に「(回答比率)」の文言があり、表記を統一するため	意見のとおり修正
53	津島市	44	44	②公共交通利用時の情報収集方法(年齢別)	P43「①公共交通利用時の支払方法(年齢別)」と同じレベルの小見出しであると考えられます。	レイアウト統一のため	意見のとおり修正
54	津島市	44	44	1行目 どの地域でも	どの地区でも	資料3 No.63を踏まえると、ここでは、地域別ではなく地区別に分析しており、「地区」と表記したほうがよいと思うため	意見のとおり修正
55	津島市	45,76	45,75	③小見出し ビッグ・プロジェクトとの連携 ④4行目 これらのビッグ・プロジェクト 取組3-1-2 2行目 ビッグ・プロジェクト コラム小見出し ビッグ・プロジェクト コラム1行目 ビッグ・プロジェクト	ビッグプロジェクト→ビッグプロジェクト	P45において、あいちビジョン2030より引用されている図には「ビッグプロジェクト」と記載されており、表記を統一したほうがよいと思うため	引用の図を削除し「ビッグ・プロジェクト」に統一
56	津島市	45	45	③2行目 共に	ともに	他のページでは、「共に」ではなく「ともに」と記載されており、表記を統一したほうがよいと思うため	意見のとおり修正
57	津島市	47	47	⑤1行目 2050年度までに	2050年までに	あいち地球温暖化防止戦略2030には「2050年」と記載されているため	意見のとおり修正
58	津島市	47	47	⑤4・5行目 エコモビリティライフ	「エコ モビリティ ライフ」	資料3のNo.311で、エコ・モビリティライフがエコ モビリティ ライフに修正しており、その修正と同様の修正が必要と思われるため	意見のとおり修正
59	津島市	47	47	⑤5行目 普及などの取り組み ⑥4・5行目 協働して取り組む	普及などの取組 協働して取組む	動詞は「取組む」、名詞は「取組」の表記に統一するため ※資料3 No.370より引用	⑤5行目は意見のとおり修正 ⑥4・5行目は、前回資料3 No.370を改め、動詞は「取組む」の表記に統一
60	観光コンベンション局	48	48	●コロナ禍による社会構造の変化を踏まえ、多様化したライフスタイルや交通ニーズに対応した交通サービスの充実を図ることが必要です。	不要	課題⑤でも読める。 地域特性からの課題であり、公共交通の現状からの課題でもあると思われる。	複数の課題から同じ結論が導かれているものであるためこのままとします。
61	中部運輸局	49	49	課題⑧ 3ボツ目 2行目後半以降 「これらの補助要件から外れる路線の維持や、効率化に向けた見直し等に取り組む必要があります。」	例えば次のような表現はいかがか。 「これらの補助要件から外れる路線の維持や、効率化あるいは利便性向上に向けた見直し等に取り組む必要があります。」	現行記載だと「見直し」→効率化(々縮小)という印象が強いかもしれないが、見直しは利便性向上に資する場合(例:車両運用改善による運行本数増等)も考えられるため、プラス面についても記載した方が適切ではないかと思料。	意見のとおり修正
62	津島市	49	49	⑧8行目 取り組む必要があります	取組む必要があります	動詞は「取組む」の表記に統一するため ※資料3 No.370より引用	前回資料3 No.370を改め、動詞は「取組む」の表記に統一
63	津島市	50	50	⑧小見出し 地域ごとの拠点への接続の確保 ⑧1行目 県内の多くの地域では、地域の「中心的な場所」として ⑧5行目 地域の中心的な	地区ごとの拠点への接続の確保 県内の多くの地区では、地区の「中心的な場所」として 地区の中心的な	関連するP37において、地域ではなく地区別に分析していることから、このページでも「地区」と表記したほうがよいと思うため	「地域」と単独で記載する場合は、分析に用いた3地域を意味しません。3地域をさす場合は「尾張地域」等のように必ず名称を付けています。
64	津島市	51	51	⑧小見出し 地域に応じたサービス水準の確保 ⑧1行目 各地域の ⑧4行目 地域の状況 ⑧6行目 地域ごとに	地区に応じたサービス水準の確保 各地域の 地区の状況 地区ごとに	関連するP38において、地域ではなく地区別に分析していることから、このページでも「地区」と表記したほうがよいと思うため	⑧4行目は地区に修正 「地域」と単独で記載する場合は、分析に用いた3地域を意味しません。3地域をさす場合は「尾張地域」等のように必ず名称を付けています。
65	津島市	51	51	⑧9行目 横欄すると共に	横欄するとともに	他のページでは、「共に」ではなく「ともに」と記載されており、表記を統一したほうがよいと思うため	意見のとおり修正
66	津島市	53	53	1.対応すべき(以下略) 2.目指す地域(以下略) 3.目指すべき(以下略) 4.関係者の役割分担	1 対応すべき(以下略) 2 目指す地域(以下略) 3 目指すべき(以下略) 4 関係者の役割分担	P1では、番号の次にピリオド(.)がなく、次ページ以降の大見出しの横にもピリオドがないことから、削除したほうがよいと思うため	意見のとおり修正
67	津島市	54	54	表中⑧ 地域ごとの拠点への接続の確保 表中⑩ 地域に応じたサービス水準の確保	地区ごとの拠点への接続の確保 地区に応じたサービス水準の確保	P50,51の修正に合わせて修正したほうがよいと思うため	「地域」と単独で記載する場合は、分析に用いた3地域を意味しません。3地域をさす場合は「尾張地域」等のように必ず名称を付けています。
68	津島市	55	55	(2)2行目 県全体として取り組む ⑥4行目 積極的な取り組み	県全体として取組む 積極的な取組	動詞は「取組む」、名詞は「取組」の表記に統一するため ※資料3 No.370より引用	②2行目はより適切な表現とするため「目指す」に修正 ⑥4行目は意見のとおり修正
69	津島市	55,68,80	55,68,80	④4行目 国補助制度等 取組1-2-2 1・4行目 国庫補助 ②表中 ※国補助事業 ②表中 (参考) 国庫補助事業の年間スケジュール	「国補助」と「国庫補助」が混在しているため、どちらかに統一したほうがよいと思います。	表記を統一するため	「国庫補助」に統一
70	津島市	55,74,77,85	55,73,76	⑤小見出し 一人ひとり コラム1行目 一人一人	「一人ひとり」と「一人一人」が混在しているため、どちらかに統一したほうがよいと思います。	表記を統一するため	「一人ひとり」に統一
71	江南市	58,60	58,60		表中(左)記載が不鮮明		配布用PDF化の際に文字化けしたと考えられます。 今後は配布用Word版に統一します。
72	尾張旭市	60	60	関係主体の国以外の表記が、文字化けしてしまっている状況となっている。	国以外の表記を修正する。	修正を実施した方が、より県民に分かりやすい資料となるように感じるため。	
73	津島市	60	60	3行目 県の取り組むべき	県の取組むべき	動詞は「取組む」の表記に統一するため ※資料3 No.370より引用	前回資料3 No.370を改め、動詞は「取組む」の表記に統一
74	津島市	61	61	句点	「ネットワーク構成での役割分担」の説明文中の句点を削除	句点の有無を統一したほうがよいと思うため	句点をつける
75	津島市	63	63	方針1・2・3のフォント(ゴシック体)	フォントを明朝体に修正	P17,53は明朝体で記載されており、レイアウトを統一したほうがよいと思うため	意見のとおり修正
76	津島市	64	64	1-2 (前略) 市町村間交通の維持・充実	市町村間交通の維持・充実	誤字脱字等	意見のとおり修正
77	津島市	65	65	2-2-3 乗継利便性の向上に向けた(以下略)	乗り継ぎ利便性の向上に向けた(以下略)	P74の小見出しが「乗り継ぎ」となっており、表記を統一したほうがよいと思うため	意見のとおり修正
78	津島市	65	65	2-2-4 福祉・健康・観光・防災など他分野と連携した支援の充実	福祉・健康・観光・防災など他分野と連携した支援	P74の小見出しが「支援」で終わっており、表記を統一したほうがよいと思うため	意見のとおり修正
79	津島市	65	65	3-2-2 行政による率先的な公共交通利用の推進	行政による優先した公共交通利用の推進	P77の小見出しが「率先した」となっており、表記を統一したほうがよいと思うため	意見のとおり修正
80	福祉局	66	66	・鉄道駅の段差解消や視覚障害者誘導用ブロック、バリアフリートイレの設置、ホームドア・可動式ホーム柵など、…	・鉄道駅の段差解消や視覚障害者誘導用ブロック、バリアフリートイレの設置、ホームドア・可動式ホーム柵など、…	表記上の統一されたルールはないが、障害福祉課においては一般的に左欄のとおり「書」として	意見のとおり修正
81	津島市	66,68	66,68	8行目 視覚障害者誘導用ブロック 取組1-2-1 10行目 視覚障害者誘導用ブロック	視覚障害者誘導用ブロック	誤字脱字等	意見のとおり修正
82	津島市	66	66	10行目 取り組み コラム7行目 取り組んでいく	取組 取組んでいく	動詞は「取組む」、名詞は「取組」の表記に統一するため ※資料3 No.370より引用	10行目は意見のとおり修正 コラム7行目は前回資料3 No.370を改め、動詞は「取組む」の表記に統一
83	名古屋鉄道	66	66	名鉄豊田線の複線化を事業者に働きかけ名古屋駅からの40分交通圏の拡大を図るなど もしくは ②名鉄三河線の複線化を事業者に働きかけ名古屋駅からの40分交通圏の拡大を図るなど	①名古屋駅からの40分交通圏の拡大を図るなど もしくは ②名鉄三河線の複線化を事業者に働きかけ名古屋駅からの40分交通圏の拡大を図るなど	計画でありますので、記載を止めるものではありませんが、「事業者に働きかけ」を背景に、事業者側に負担を強いることがないようにだけお願いをいたします。	「三河線」に修正
84	津島市	67	67	1行目 アクセス維持・充実	アクセスの維持・充実	誤字脱字等	意見のとおり修正
85	福祉局	68	68	・鉄道駅の段差解消や視覚障害者誘導用ブロック、バリアフリートイレの設置、ホームドア・可動式ホーム柵など、…	・鉄道駅の段差解消や視覚障害者誘導用ブロック、バリアフリートイレの設置、ホームドア・可動式ホーム柵など、…	表記上の統一されたルールはないが、障害福祉課においては一般的に左欄のとおり「書」として	意見のとおり修正
86	津島市	68	68	取組1-2-1 2・6・12行目 取り組み	取組	名詞は「取組」の表記に統一するため ※資料3 No.370より引用	意見のとおり修正
87	津島市	68	68	取組1-2-1 9行目 JR刈谷駅	JR刈谷駅(英字を半角に)	P22,58,82,85では「JR」が半角で表記されているため	「JR」は全角に統一 (企業ロゴが全角のため)
88	名古屋鉄道	68	68	駅や高架橋等の施設・設備について、耐震対策、豪雨対策、長寿命化など、一層の取り組みを促す	駅や高架橋等の施設・設備について、耐震対策、豪雨対策、長寿命化など、必要に応じ支援すること、一層の取り組みを促す	交通事業者単体でどうにかできているものではない事例も多いので、一文加えました。	「必要に応じて支援」と記載できる財政的な裏付けがありません。
89	津島市	69	69	小見出し (前略) 交通拠点の充実	交通拠点の維持・充実	P65の表記と統一するため	意見のとおり修正
90	都市計画課	69	69	統合セントラル地区	東郷セントラル地区	誤字修正	意見のとおり修正
91	東郷町	69	69	統合セントラル地区	東郷セントラル地区	誤字	
92	都市計画課	69	69	「取りまとめ」とは？具体的な事業名を教えてください。 (P69に修正意見はありません)			社会資本整備総合交付金事業のうち、「地域公共交通再構築事業」及び「都市・地域交通戦略推進事業」を想定しています。

No.	団体名 局・課名	修正前 ページ	修正後 ページ	現行記載	修正意見	修正理由	対応案
93	名古屋交通局	69	69	交通事業者や市町村と連携し、利用しやすいダイヤや運賃の調整を図り		公共交通会議において交通事業者や市町村と連携し、利用しやすいダイヤや運賃の調整を図るといった取組を行うということならば(案)の文章からはそこまで読み取れない	地域公共交通会議等の場を活用し、交通事業者や市町村と連携して、利用しやすいダイヤや運賃の調整を図り
94	津島市	70	70	4行目 取り組みます	取組みます	動詞は「取組む」の表記に統一するため ※資料3 No.370より引用	前回資料3 No.370を改め、動詞は「取り組む」の表記に統一
95	労働局	73	72	地域公共交通を支える運転手や整備士などの不足に対して、交通事業者が取り組む求人活動や職場環境の改善について支援を行います。	地域公共交通を支える運転手や整備士などが不足している運輸業界を含む中小企業の人材確保を支援します。	交通対策との協議を踏まえ、修正しました。	労働局の意見のとおり修正 「省力化のための投資について支援」と記載できる財政的な裏付けがありません
96	津島市	73	72	1行目 取り組む	取組む	動詞は「取組む」の表記に統一するため ※資料3 No.370より引用	
97	名古屋鉄道	73	72	交通事業者が取り組む求人活動や職場環境の改善について支援を行います。	交通事業者が取り組む求人活動や職場環境の改善、省力化のための投資について支援を行います。	担い手が減少する中、事業の効率化を図る必要がありますので、その視点からも支援していただきたいです。	
98	豊橋市	73 コラム	72 コラム	自治体による運転手確保～ 豊橋市では20**年より、～ 運転士を育成するための支援が行われています。	自治体による運転士確保～ 豊橋市では2019年より、～ 運転士になるための就職支援が行われています。		意見のとおり修正
99	名古屋交通局	74	73	乗り継ぎ運賃やダイヤ等の調整に関して、関係する市町村や交通事業者との調整を支援します。		公共交通会議等を通じての支援であることが読み取れない	地域公共交通会議等の場を活用し、乗り継ぎ運賃やダイヤ等の調整に関して、関係する市町村や交通事業者との調整を支援します。
100	津島市	75	74	3行目 取り組む	取組む	動詞は「取組む」の表記に統一するため ※資料3 No.370より引用	前回資料3 No.370を改め、動詞は「取り組む」の表記に統一
101	津島市	76	75	3行目 来訪者が移動手段として適切な公共交通が選択されるよう	来訪者が移動手段として適切な公共交通を選択できるよう	文脈的に修正したほうがよいと思うため	意見のとおり修正
102	津島市	76	75	コラム内将来イメージ(市街地) 2行目 超小型モビリティ	超小型モビリティ	誤字脱字等	意見のとおり修正
103	豊橋市	76 コラム	75	超小型モビリティ ラストワンマイル	超小型モビリティ ラストワンマイル		
104	モビ推G	77 コラム	76 コラム	エコ・モビリティライフ エコモビリティライフの日の制定 「あいちエコモビリティライフの日」 身近なエコモビリティの行動 サイクル&ライド	エコ モビリティ ライフ あいちエコモビリティライフの日 「あいちエコモビリティライフの日(略してエコモビの日)」 身近なエコモビ サイクル&ライド ※「&」は全角 その他のエコモビの項を削除		意見のとおり修正
105	津島市	77	76	コラム小見出し エコ・モビリティライフ	エコ モビリティ ライフ	前回の修正漏れと思われるため ※資料3 No.311	
106	津島市	78	77	表中 1-1-2 (前略) 広域交通ネットワークの維持	広域交通ネットワークの維持・充実	P65.66の表記と統一するため	意見のとおり修正
107	名古屋交通局	78	77	乗の取組の主な連携先の事業者の所に「○」が記載されていません			「主な」であるためそのまま
108	津島市	78	77	表中 1-2-3 地域間幹線と市町村内交通をつなぐ交通拠点の充実	広域交通・市町村間交通と市町村内交通をつなぐ交通拠点の維持・充実	P65の表記と統一するため	意見のとおり修正
109	津島市	78	77	表中 2-2-1 DX・GXの新技術の積極的導入の支援(MaaS、自動運転、オープンデータ化など)	DX・GXの新技術の積極的導入の支援	P65.72の表記と統一するため	「DX・GX等の新技術の積極的導入の支援」に修正
110	津島市	78	77	表中 3-1-1 マイレール・マイバス意識の醸成(情報発信、利用啓発イベントなど)	マイレール・マイバス意識の醸成	P65.75の表記と統一するため	意見のとおり修正
111	津島市	78	77	表中 3-2-2 行政による率先的な公共交通利用の推進	行政による優先した公共交通利用の推進	P77の表記と統一するため	意見のとおり修正
112	津島市	79	79	V 計画の推進にむけて	計画の推進に向けて	目次の表記と統一するため	意見のとおり修正
113	津島市	79	79	1.計画の進捗管理について 2.実施体制 3.計画の進捗評価	1 計画の進捗管理について 2 実施体制 3 計画の進捗評価	P1では、番号の次にピリオド(.)がなく、次ページ以降の大見出しの横にもピリオドがないことから、削除したほうがよいと思うため	意見のとおり修正
114	津島市	79	79	1.計画の進捗管理について 2.実施体制	フォントを明朝体に修正	P1.7.53は明朝体で記載されており、レイアウトを統一したほうがよいと思うため	意見のとおり修正
115	中部運輸局	80	80	1②最下段(参考) 国庫補助事業の年間スケジュール 10～1月 『自己評価』	『前年度事業の自己評価』に修正	自己評価は前年度のものを実施することになっているため、「前年度事業」を追加。	意見のとおり修正
116	津島市	81	81	乗の【役割】 3つ目 市町村の取組の支援・協力	市町村の取組の支援・協力	誤字脱字等	意見のとおり修正
117	津島市	83	84	数値の取得方法等 5行目 また、1つの路線が3市町村以上を結ぶ場合	また、1つの路線が3市町村以上を結ぶ場合	同行の後半に「その全ての市町村の組合せ」と記載があることから、「村」も追加したほうがよい	意見のとおり修正
118	津島市	83	84	数値の取得方法等 6・7行目 4市町村を結ぶため	4市を結ぶため	4つの自治体に、町が含まれていないため	意見のとおり修正
119	愛知運輸支局	83	84	指標1-② 地域間幹線系統の補助対象路線により結ばれる市町村数…数値の取得方法 →「…複数市町村に跨る47系統※を対象として…」の※に対応する注釈等が無いように思います。	また、もし対応する注釈が必要であれば、「現状値の設定」欄の「…複数市町村に跨る47系統を対象として…」に※を付けた方が順番的に適当かと思えます。		年度ごとに系統数が変動する可能性があるため、系統数の表記は削除
120	愛知運輸支局	84	88	指標1-③ 県内のフィーダー系統…地域間幹線系統に接続するフィーダー系統数・数値の取得方法		一市町村からの報告に基づく系統数となるかと思えます。 国庫補助にかかるフィーダー系統のカウント方法は、同一路線扱いの系統でも短絡系統等は補助系統としては別系統と数える、など「路線」よりも詳細に系統を分割している関係上、市町村の報告している系統数とは必ずしも一致しない可能性があります。このため、指標として使用する「フィーダー系統数」の定義及びその数値の取得方法を記載した方がよいかと思えます。	ご指摘のように市町村からの報告を基礎とする場合、ばらつきが生じる可能性があります。ため、愛知運輸支局への照会に基づく数値とします。
121	中部運輸局	84	88	指標1-③ 地域間幹線系統に接続するフィーダー系統数 現状値(2023年度) 192系統	192という数字ですが、貴県の毎年の各市町村への調査の数字を元になさっているということであれば、「数値の取得方法等」欄に「毎年の各市町村への調査調査に基づき把握している県内の地域内フィーダー系統の系統数を位置付けます。」などとしていただくと、数字の算出元がより分かりやすくなるのではと思います。	フィーダー補助対象系統の数(※当運輸局としては公表していません)については、計画認定時の系統数(例:R5.9やR4.9など)なのかバス事業年度中の追加・廃止も加味した系統数なのか、その他、捉え方によって数字が変わるため、当運輸局では192という数字は認められません。ただ、貴県の毎年の各市町村への調査の数字を元になさっているなど一貫性のある根拠を持った数字であるなら全く支障無いと思いますが、「数値の取得方法等」欄には少し補足があった方が分かりやすいのではと思ったため。	
122	安城市	86.93～	85.101～	P86 複数の市町村間を越境する地域間幹線系統の補助を受けている63系統のうち・・・ P93～ 県内の地域間幹線系統位置づけ路線 路線数64路線	P86とP93以降の表で地域間幹線系統数が異なりますが、時点の違いによるものと推察しました。 P86の方に系統数の注釈を入れるとともに、2024.10.1以降に位置付ける系統を目標にどのように扱うか記載されると良いのではないかと思います。	左記と同様	「補助を受けている63系統のうち、複数市町村に跨る47系統(2023年度)の年間輸送人員」を「補助を受けている系統のうち、複数市町村に跨る系統の年間輸送人員」に修正
123	名古屋鉄道	86	85	コロナ禍により減少した2022年度の利用実績に対して、本計画の計画期間約3年間で、コロナ禍前の2021年度利用実績の水準に回復させることを目標とします。	コロナ禍により減少した2022年度の利用実績に対して、本計画の計画期間約3年間で、コロナ禍前の2019年度利用実績の水準に回復させることを目標とします。	P85では「コロナ禍前の2019年度利用実績」という表現がありましたので、統一したほうがよいかと思いました(バス年度の関係でしょうか・・・)。	バス年度の関係でずれが生じています。「コロナ禍により減少した年間輸送人員を、コロナ禍前の水準に回復～」と修正
124	津島市	90	98	コンパクト・プラス・ネットワーク	コンパクトプラスネットワーク	P55④1行目では「コンパクトプラスネットワーク」と記載されていることから、表記を統一したほうがよいと思うため	あいち交通ビジョンにあわせて「コンパクト・プラス・ネットワーク」に統一
125	津島市	90	-	ユニバーサルデザインタクシー(UDタクシー)		本文中に当該用語を見つけられなかったため 本文中にない場合は、用語集に必要ないと思います。	UDタクシーを削除
126	津島市	90.91	98.99	全体的		用語解説文において、句点の有無がバラバラのため、統一したほうがよいと思います。	句点なしに統一
127	東郷町	93	102	■県内の地域間幹線系統位置づけ路線(令和5年度:～)	■県内の地域間幹線系統位置づけ路線(令和7年度:～)	補助対象期間と年度が整合しない	「令和7年度」に修正
128	愛知運輸支局	94	102	県内の地域間幹線系統位置づけ路線(令和5年度:補助対象期間2024年10月1日～2025年9月30日)		「令和5年度」とある部分は、正しくは「令和7年度」あるいは「令和7バス年度」ではないでしょうか?	
129	中部運輸局	94	102	■県内の地域間幹線系統位置づけ路線(令和5年度:補助対象期間2024年10月1日～2025年9月30日)	令和5年度を令和7年度に修正	年度(バス事業年度)と補助対象期間が一致していないため。	
130	航空空港課	94以降	102以降	縦投名	系統名	誤記を訂正するため	意見のとおり修正
131	安城市	-	-	愛知県地域公共交通計画(案)の修正意見への対応案 No.365 現状課題の整理に関する内容について	※修正意見ではなく、確認です。 対応案でコメントをいただいておりますが、当該計画は、愛知県のこれまでの公共交通施策に対する振り返りや評価は不要であり、統計データ及び県民アンケートを元に取りまとめる、という理解でよろしかったでしょうか。	-	本計画は「地域公共交通計画」として初めて策定する計画ですが、県のこれまでの取り組みを踏まえて策定しています。

No.	団体名 局・課名	修正前 ページ	修正後 ページ	現行記載	修正意見	修正理由	対応案
132	津島市	全体的	-	位置付け/位置づけ	「位置付け」と「位置づけ」が混在しているため、どちらかに統一したほうがよいと思います。		「位置付け」に統一

愛知県地域公共交通計画（案）の修正意見への対応案

資料3

No.	団体名 局・課名	修正前 ページ	修正後 ページ	現行記載	修正意見	修正理由	対応案
1	観光コンベンション局	2	2	県政の各分野における主な計画 ・あいち観光戦略2021-2023	県政の各分野における主な計画 ・あいち観光戦略2024-2026	あいち観光戦略2024-2026が2024年2月に策定予定のため。	意見のとおり修正
2	政策企画局	2	2	・第2期愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略	・愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略2023-2027（愛知県人口問題対策プラン）	・総合戦略を改訂したため。	意見のとおり修正
3	都市計画課	2	2		「県政の各分野における主な計画」に「都市計画区域マスタープラン」追加	「交通とまちづくりの連携」が求められているが、関連計画に県のまちづくりの基本方針である「都市計画区域マスタープラン」が記載されていない。具体的に記載していただきたい。	意見のとおり修正
4	中部運輸局	2	2	1(1) 4ポツ目 また2020年11月に施行された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律」に基づき、	また2023年10月に改正法が全面施行された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（地域交通法）」に基づき、	法改正があったため。	意見のとおり修正
5	愛知運輸支局	2	2	1(1) 4ポツ目 また2020年11月に施行された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律」に基づき、	また2023年10月に改正法が全面施行された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（地域交通法）」に基づき、	法改正があったため。	
6	名古屋市交通局	3	3	(1) 計画期間と対象区域 本文中は「尾張、西三河、東三河」の順 【区域】愛知県全域の表示は「尾張/東三河/西三河」の順	—	同じ項目の中なので、統一されていないと良いでしょうか。	意見のとおり修正
7	岡崎市	3	3	【区域】愛知県全域 (尾張/東三河/西三河)	【区域】愛知県全域 (尾張/西三河/東三河)	他の記載順との順と合わせる	
8	東海北陸旅客船協会	3	3	【区域】愛知県全体（尾張/東三河/西三河）	【区域】愛知県全体（尾張/西三河/東三河）	他の記載の順番と統一した方が良いのでは	
9	名古屋市交通局	3	3	(2) 対象とする交通機関 「広域交通（県間交通を含む）」の【位置付け】の2項目にある 『県中心の「名古屋」に繋がる路線』	—	「県中心」とはどういう意味でしょうか。	愛知県における経済活動等の中核という意味
10	名古屋市	3	3	(2) 対象とする交通機関 広域交通（県間交通を含む） 【位置付け】 ・県中心の「名古屋」に繋がる路線	(2) 対象とする交通機関 広域交通（県間交通を含む） 【位置付け】 ・県中心の「名古屋」に繋がる路線 ・名古屋市or名古屋地区に繋がる路線	対象区域として名古屋地区としていることから、名古屋地区にするのか、名古屋とする場合、ここでは名古屋市を指しているのではないのでしょうか。	「名古屋地区」と修正
11	知多市	3	3	(2)対象とする交通機関、赤点線。市町間交通【構成する主な交通機関】鉄道、路線バス（県内、近距離高速バス含む）	コミュニティバス、タクシーを追加	生活圏が市町間を跨ぐケースもあり、地域によってはコミュニティバス、タクシーがその交通を補完するため。	本計画では、コミュニティバス、タクシーについては、結果的に市町村を跨いで運行していても「市町間交通」として整理する。 (10月作業部会で説明済み)
12	名古屋タクシー協会	3	3	(2) 対象とする交通機関 市町間交通（拠点間を移動する公共交通ネットワーク）	(質問) 拠点間の移動にタクシーを含めない理由をご教示願います。また、ここでいうところの「拠点」の定義を明確にしてください。 (意見) 市町間移動にタクシーを追加願います。	タクシーについては市町間交通としての機能が大きいことは確かですが、タクシーの営業区域でも「名古屋交通圏（17市町村）」とされている。市町間の移動にも使われており、また、政府の規制緩和の議論においても営業区域の見直し議論もあるやにお聞きしています。その様な観点からすると、市町間移動からタクシーを除外することに疑問があります。	
13	名古屋タクシー協会	3	3	(1) 計画期間 2024年度から2026年度（概ね3年間）	(質問) 計画期間を3年間とする理由又は根拠をご教示願います		上位計画である「あいち交通ビジョン」に終期を合わせるためです。 (6月協議会、6月作業部会等で説明済み)
14	政策企画局	4	4	あいちビジョン2030（2022年度～2026年度）	あいちビジョン2030（2021年度～2030年度）	正しい内容に修正	意見のとおり修正
15	政策企画局	4	4	1つ目の・を追加。	リニア中央新幹線が全線開業し、スーパー・メガリージョンの形成が期待される2040年頃を展望し、2030年度までに重点的に取り組むべき政策の方向性を示しています。	あいちビジョンの表現に合わせて追加。	意見のとおり修正
16	政策企画局	4	4	愛知県の未来のビジョンを示し、【めざすべき愛知の姿】として、大きく4つの未来の姿を示しています。	2040年頃の社会経済の展望を踏まえ、以下のとおり、将来の愛知の姿を描き、その実現をめざしています。	あいちビジョンの表現に合わせて修正。	意見のとおり修正
17	政策企画局	4	4	全ての人の活躍を支え、世界から選ばれるあいちの実現に向けて、新技術等も活用しながら、暮らし、経済の発展を支え、環境との調和を図ることのできる交通環境を形成し、交通分野からのビジョンの実現を目指すことが期待されます。	削除	あいちビジョンの紹介をするコラム内に記載する内容ではないと思うため。	意見のとおり修正
18	政策企画局	4	4	【めざすべき愛知の姿】	【めざすべき愛知の姿】の概要	めざすべき愛知の姿の主な内容を記載しているため。	意見のとおり修正
19	政策企画局	4	4	すべての人が生涯働き、活躍できる愛知のイラスト	左上の不要な文章を削除してください。		意見のとおり修正
20	常滑市	4	4	めざすべき愛知の姿 右側の図の下 活躍できる社会を実現していく。	「活躍できる社会を実現していく。」を削除する。	誤記載と思われるため。	
21	知多市	4	4	中間あたり。活躍できる社会を実現していく。	文字が半分切れています。		
22	政策企画局	4	4	そして、「人生100年時代」において、・・・	そもそも「人生100年時代」において、・・・	箇条書きのため	意見のとおり修正
23	政策企画局	5	5	・・・中京大都市圏の形成を目指していく。	・・・中京大都市圏の形成を目指していく。 ※中京大都市圏：名古屋を中心に社会的・経済的な結びつきが強く、一体的な強い産業集積を有するエリア（名古屋を中心とした概ね80～100キロ圏）を「中京大都市圏」と位置づけている。	注釈がないため	意見のとおり修正
24	知多市	5	5	4.世界から選ばれる魅力的な愛知。～ヒト・モノ・カネ・情報が集まり、首都圏の持つ社会的な機能を代替する中京大都市圏の形成をめざしていく。	中京大都市圏の説明を追記		
25	小牧市	7	7	4.公共交通を取り巻く社会情勢の整理	目次と記載を合わせる	目次記載との不一致	意見のとおり修正
26	政策企画局	8～11	8～11	文章、グラフ、表など全般	※国立社会保険・人口問題研究所が、「日本の地域別将来人口推計（令和5年推計）」を2023年中に公表予定としているため、公表後に修正が必要と思われます。 https://www.ipss.go.jp/pp/shicyon/j/shicyon18/t-page.asp	・同左	公表後修正（確認中）
27	名古屋市交通局	9	9	②地区別・市町村別の人口推移 タイトルの「■市町村別の将来人口の増減率（2020年～2040年の変化）」 凡例の「2022年から2040年までの人口変化率」	—	同じ項目の中なので、年数が統一されていないと良いでしょうか。	凡例を2020年に修正
28	武豊町	9	9		地区別の人口の推移と将来予測のグラフ、「〇%減」という表記がありますが、「少」が見切れているかと思えます。		意見のとおり修正
29	名古屋市交通局	10	10	①高齢化率の推移 生産年齢人口（15～64歳人口）	生産年齢人口（15～64歳）	カッコ内の人口は不要ではないでしょうか。	意見のとおり修正
30	名古屋市交通局	11	11	②市町村別の現況・将来の高齢化率の変化 WHO（世界保健機構）	WHO（世界保健機構）	間違っていないでしょうか。	意見のとおり修正
31	名古屋市	11	11	②市町村別の現況・将来の高齢化率の変化 ・WHO（世界保健機構）	②市町村別の現況・将来の高齢化率の変化 ・WHO（世界保健機構）		
32	交通対策課鉄道第2G	11	11	■市町村別の高齢化率の将来の変化（2020年、令和2040年）	■市町村別の高齢化率の将来の変化（2020年、2040年）	誤植の修正	意見のとおり修正
33	名古屋市	11	11	市町村別の高齢化率の将来の変化（2020年、令和2040年）	市町村別の高齢化率の将来の変化（2020年、令和2040年）		
34	武豊町	11	11		「市町村別の高齢化率の・・・」の図があるが、「令和2040年」の「令和」は不要かと思えます。		
35	名古屋市交通局	12、13、17、18、19	12、13、17、18、19	凡例の記載 名古屋市交通局	「名古屋市営地下鉄」もしくは「地下鉄」	他の鉄道路線の表記と合わせるため。	「名古屋市営地下鉄」に修正
36	名古屋市	12、13	12、13		出典元を記載した方が伝わりやすいかと思えます。	出典元を記載した方が伝わりやすいかと思えます。	意見のとおり修正
37	航空空港課	13	13	表記なし	地図に「刈谷市」を記載してはどうか。 (本文中に記載があるため)		刈谷市を追加
38	名古屋市交通局	13	13	②市町村別の常驻地以外の市町村への通勤・通学者数 一項目の文章では「名古屋」 二項目の文章では「名古屋市」	—	同じ項目の中なので、統一されていないと良いでしょうか。	「名古屋市」に修正
39	交通対策課鉄道第2G	14	14	2020年度も新型コロナウイルス感染症の影響などにより減少が続きました。	2021年度以降の状況も記載してはいいでしょうか。	コロナ後の状況も明らかになってきているため。	2021年以降のデータの取得は、現在の公表統計では難しいためそのまま。
40	県民文化局	14	14	・県内の従業者数は2012年以降増加を続けており、2021年には約406万人となっています。	・県内の従業者数は2012年以降増加を続けており、2021年には約382万人となっています。	数字誤り。	2021年データを確認 意見のとおり修正
41	県民文化局	14	14	■従業者数の推移グラフ 2021の人数 406	■従業者数の推移グラフ 2021 406→382 内訳も修正してください。	数字誤り。	2021年データを確認 意見のとおり修正

No.	団体名 局・課名	修正前 ページ	修正後 ページ	現行記載	修正意見	修正理由	対応案
42	県民文化局	14、15	14、15	出典：経済センサス 活動調査 出典：平成28 年経済センサス 活動調査	出典：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」 出典：総務省・経済産業省「平成28 年経済センサス-活動調査」	※、(ハイフン)は半角です。 総務省HPより 経済センサス-活動調査 結果の引用・転載に ついて 統計データを引用・転載する場合には、出典を 記載してください。出典を編集・加工等して利 用した場合はその旨も明記してください。(出 典記載例) ・ 総務省・経済産業省「令和〇年経済センサ ス-活動調査結果」(当該ページのURL) (〇年 〇月〇日に利用) ・ 総務省・経済産業省「令和〇年経済センサ ス-活動調査結果」(当該ページのURL)を加工 して作成	意見のとおり修正
43	県民文化局	14	14	1 (資料内上段文章3行目) ● 県内総生産は2012年度から・・・ 2 題名：「県内総生産の推移」 3 グラフ内縦軸ラベル：「県内総生産(兆円)」	1 (資料内上段文章3行目) ● 地区別総生産は2012年度から・・・ 2 題名：「地区別総生産の推移」 3 グラフ内縦軸ラベル：「地区別総生産(兆円)」	県民経済計算と市町村民経済計算は、推計方法 が異なる。「県内総生産」は県民経済計算の推 計結果から表される数値であり、市町村民経済 計算の合計とは一致しない。従って、市町村民 経済計算の合計を「県内総生産」と表記するこ とは、望ましくない。	意見のとおり修正
44	観光コンベンション局	16	16	観光入込客数の推移のグラフ	観光目的のみに限定した数値ですが、ビジネス目的兼観光目的の数値は考慮しなく て良いのでしょうか。 (参考：愛知県観光入込客統計貴社発表資料)	愛知県観光入込客統計では、「ビジネス」と は、「ビジネス目的兼観光」と定義していま す。	ビジネス目的兼観光を加えて再集計
45	観光コンベンション局	16	16	県内観光施設の利用者数の上位10位について	2018年⇒2022年ではなく、2019年⇒2022年の方がよいのではないのでしょうか。	国の統計が2018年が多いため、レクリエーシ ョン統計も2018年を採用したようにお見受けしま す。 しかしながら観光ですと、コロナ前の2019年の 数値と比較することが多いので、意見させてい たきます。	2019年との比較に修正
46	観光コンベンション局	16	16	自動車で来訪しやすい刈谷ハイウェイオアシスや中部国際空港、NEOPASA 岡崎は他 の観光施設等に比べて順位の下落が小さくなっているものと思われる。	従来の来場者数が多いことや自動車で来訪しやすい刈谷ハイウェイオアシスや中部 国際空港、NEOPASA 岡崎は他の観光施設等に比べて順位の変動幅が小さくなってい るものと思われる。	多くの施設はコロナ禍において利用者が減少し ているが、例示施設は従来から利用者が多く、 また車移動による密回避等による車利用の増 加(公共交通機関の利用減)により、他の施設よ り使用者が多いものと思われるため。	従来の来場者数が多いのは例示施設のみに 限る話ではないためこのまま ただし、「中部国際空港」は削除
47	名古屋市交通局	16	16	①観光客入込客数の推移 タイトルは「観光客入込客数」 以下文章等は「観光入込客数」	—	同じ項目の中なので、統一されていなくて良い のでしょうか。	「観光入込客数」に修正
48	東海北陸旅客船協会	16	16	観光入込客数(記載4か所)	観光客入込客数	標題の観光客入込客数との表現の違い	
49	名古屋市	16	16	名古屋まつりやにっぽん真ん中まつり	名古屋まつりやにっぽん真ん中祭り	まつりは漢字かと思います。	意見のとおり修正
50	名古屋市	16	16	表の記載の2018年ナゴヤドーム、2022年ナゴヤドーム	2022年はバンテリンドーム ナゴヤ	2020年12月以降ネーミングライツを実施して おり、2021年1月から5年間につきましては、バン テリンドーム ナゴヤが名称です。	意見のとおり修正
51	知多市	16	16	(5)観光・交流、①観光客入込客数の推移。	(誤)刈谷ハイウェイオアシス⇒(正)刈谷ハイウェイオアシス。2箇所あり。		意見のとおり修正
52	安城市	17~19	17~19	「出典：国土数値情報ダウンロードサービスを元に作成」	データがいつ時点ものかを記載したほうが良いと思います。		意見のとおり修正
53	名古屋市	17	17	●尾張地域における学校(高校、高専、大学、専修学校)、病院(病床数20床以 上)の分布は、名古屋駅周辺を中心に集中しており、	●尾張地域における学校(高校、高専、大学、専修学校)、病院(病床数20床以 上)の分布は、名古屋駅周辺を中心に集中しており、	名古屋市内では、名古屋駅周辺に限定的に分布 しているわけではないと思いますので、名古屋 市周辺を中心にくらいのトーンの方が伝わりや すいかと思います。	意見のとおり修正
54	名古屋市	17	17	●鉄道沿線に人口、産業が集積し、名古屋とのつながりが充実しており、	●鉄道沿線に人口、産業が集積し、名古屋地区or名古屋市とのつながりが充実して おり、	対象区域として名古屋地区とすることか ら、名古屋地区にするのか、名古屋とする場 合、ここでは名古屋市を指しているのではな いのでしょうか。	「名古屋地区」と修正
55	尾張旭市	17	17	尾張旭市の表記が民鉄の表示に重なり、鉄道路線が見えない状況となってい る。また、本市内にある名古屋産業大学の表示も見えない状況となっている。	尾張旭市の表記を上下どちらにずらし、民鉄及び大学の表示が見えるように修正す る。	修正を実施した方が、より県民に分かりやすい 資料となるように感じるため。	意見のとおり修正
56	常滑市	17~18	17~18	学校、病院の分布図	常滑高校の位置が旧常滑高校の位置になっている。 現在の位置に修正する。	マーク逆	意見のとおり修正
57	大府市	17	17			●尾張地域の施設分布と公共交通ネットワ ーク 図について、大府市内の水色丸(大学)が 1件漏れている。	意見のとおり修正
58	長久手市	17	17	図中に愛知医科大学病院のプラットが無い			意見のとおり修正
59	豊田市	18	18	豊田駅	①当該駅名は存在しない ※他のページでも多数同様の記載あり ②事実と異なる	①駅名は、豊田市駅及び新豊田駅であるため ②豊田駅周辺に公的医療機関はないため(浄 水駅周辺には豊田厚生病院あり)	「豊田市駅・新豊田駅」に修正
60	豊田市	18	18	病院は中心部以外に立地しておらず	事実と異なる	足助地域には足助病院があるため	「特に病院は中心部以外に立地してお らず、通院のための」を削除
61	市町村課 地域振興室	20	20	0 「(1)愛知県の公共交通ネットワーク」12行目について、 「市町村内交通として…」	「市町村内交通として…」	誤字	意見のとおり修正
62	安城市	20	20	県内の公共交通ネットワーク	主要な交通結節点を〇印で記載されていると思いますが、西三河地方唯一の新幹線 駅「三河安城」の記載は必要ないでしょうか。 また、凡例に新幹線路線の反映を追加してはいいかがでしょうか。 掲載路線の時点も掲載した方がよいと思います。		意見のとおり修正 ただし、交通結節点は駅名を記したもの ではないので「三河安城」ではなく「安城」 として追記
63	名古屋市交通局	20	20	(1)愛知県の公共交通ネットワーク 文章中「尾張地域、西三河地域、東三河地域」 第1章では「地区」 「地域」：尾張、西三河、東三河 「地区」：尾張、名古屋、知多、豊田、西三河、東三河(P3)	—	同じ内容を示していることから、統一されてい なくて良いのでしょうか。	「尾張・西三河・東三河」は地域 地域内の「尾張・名古屋・知多・豊田・西 三河・東三河」は地区に統一
64	田原市	20	20	ネットワーク図	P60の目指すべき地域公共交通ネットワークには伊勢湾フェリーの記載が図面上に記 載がありますので、同様に記載いただきたいです。	令和5年9月8日照会に回答させていただいた問- 2関連	図が見切れていたため修正
65	名古屋タクシー協会	20	20	(1)愛知県の公共交通ネットワーク 4段落目「名古屋を除く～」について	(質問・意見) 名古屋市とその他の市町村を区分する理由と名古屋市ではどのような交通機関が 住民の暮らしを支えているのか、記載方法に違和感があります。	左記に同じ	「名古屋を除く」を削除
66	東海北陸旅客船協会	20	20	離島部については・・・運行するほか、市町村内交通・・・	離島部については・・・運航するほか、美浜町、田原市の市町村内交 通・・・	船舶の場合は運行ではなく運航	意見のとおり修正
67	東海北陸旅客船協会	20	20	伊良湖港結ぶ高速船が運行・・・	伊良湖港を結ぶ高速船が運航・・・	河和港、伊良湖港の市町村を記載すべきでは ない	
68	都市総務課	20	20	離島部については、西尾市、南知多町の市町村内交通として定期便が運行するほ か、市町村内交通として河和港から離島を結ぶ伊良湖港結ぶ高速船が運行して おり、	離島部については、西尾市、南知多町の市町村内交通として定期便が運航されて いるほか、市町村内交通として河和港から離島を結ぶ伊良湖港を結ぶ高速船が運航され ており、	字句の誤り等。	
69	交通対策課鉄道第2C	21	21	■公共交通の人口カバー率(2022年)	カバー率の算出方法を記載してはいいかがでしょうか。		カバー率の算出条件を明記する。 市町村によって独自の条件で算出している 場合もあり、市町村における数値とは必ず しも一致しないことも記す
70	安城市	21	21	「公共交通の人口カバー率」	「公共交通」には、鉄道、バス等の定時定路線に加え、タクシーも含まれるかと思 います。今回のカバー率の算出方法は、タクシーを考慮しない算出だと思われま すので、算出方法に即した記載とした方がよいと思います。加えて、カバー率とはど のような値なのかの説明文と、算出に用いたデータの時点を示した方がよいのでは ないでしょうか。		
71	瀬戸市	21	21	公共交通の人口カバー率	公共交通の人口カバー率について算出方法を記載をお願いします。	公共交通の人口カバー率の数字が市町村の計画 と相違が出る可能性があるため。	
72	豊田市	21	21	公共交通カバー率	算出方法を記載	一般的な定義がなく、各市町でも算出方法が異 なっているため	
73	名古屋市	21	21	●公共交通のカバー率 カバー人口2,304,875 カバー率98.8%		名古屋市地域公共交通計画案では、カバー人口 2,312,558人、カバー率99.2%としています。当方 では、250mメッシュで人口算出しています。参 考に算出方法を教えていただいてもよろしいで しょうか。	
74	春日井市	21	21	公共交通のカバー率(2022年)	公共交通カバー率の算出方法についての記載を追加	公共交通のカバー率の算出方法が不明であるた め、記載をお願いしたい。	
75	津島市	21	21	公共好通の人口カバー率	カバー人口の算出方法がわからないため、よりわかりやすくするため、表の最後の 注釈等で、算出方法を記載したほうがよいと思います。	表の見方をわかりやすくするため。	
76	豊橋市	21	21	■公共交通の人口カバー率(2022年) 豊橋市総人口371,920 カバー人口323,270 カバー率86.9%	総人口は令和2年国勢調査での人口かと思いますが、カバー人口及びカバー率 86.9%の数値根拠を教えてください。	総人口、カバー人口の時点を確認させて下さ い。	
77	知多市	21	21	公共交通の人口カバー率(2022年)。表	カバー率の定義を追記。	鉄道及びバスが半径〇m圏内をカバーしているも ののなかを記載した方が、カバー率の数値が何 を示しているか理解しやすい。	

No.	団体名 局・課名	修正前 ページ	修正後 ページ	現行記載	修正意見	修正理由	対応案
78	岡崎市	21	21		公共交通の人口カバー率の定義について追記	質問に近いですが、500mメッシュで見たときの人口カバー率等で算出していますでしょうか。	
79	名古屋タクシー協会	21	21	公共交通の人口カバー率	カバー率に関する考え方は示さないのか。自治体によってもカバー率の考え方は違っており、何を根拠にしたカバー率か分からない。カバー率100%の自治体も散見されるが、当該自治体がある、また、実際の人口カバー率との関係は如何に。その他の自治体でも90%を超えるカバー率が示されているが、当該自治体では公共交通の問題は無いのか、カバー率だけで捉えることではない様に思われること。		
80	北名古屋	21	21	表中総人口		いつのどのようなデータから引用した人口か不明のため	出典、データ時点を明記します
81	交通対策課 鉄道第1G	22	22	県内鉄道事業者と鉄道駅の有無	愛知高速交通（リニモ）について、尾張地区に「●」を追記	長久手市内を運行しているため	意見のとおり修正
82	交通対策課 鉄道第2G	22	22	鉄道	鉄軌道	リニモ、名古屋ガイドウェイバスは軌道のため。	分かりやすさを優先 現行表記のまま
83	交通対策課 鉄道第1G	22	22	県内の鉄道駅別の日平均乗降客数（2020年）	2020年は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う移動制限等の影響で鉄道需要が大幅に落ち込んだ年（2019年度比6割程度）であり、他年のデータを採用したほうがよいのではないか。各駅の1日平均乗降客数のデータは各社2022年度まで公開済み JR東海：https://company.jr-central.co.jp/others/barrier-free/ 名古屋鉄道：https://www.meitetsu.co.jp/profile/barrier-free/ 名古屋地下鉄：	ただし、P23以降の各社別年間輸送人員データと年度を合わせる趣旨であれば特に固執しません。	各社個別のデータを変更し統合。 統合するため、全てのデータが揃う2020年として整理。
84	名古屋タクシー協会	22	23	県内の鉄道駅別の平均乗降客数	下段の図（地図が小さいので）見にくい、特に1〜2万人、2〜3万人の赤丸が小さすぎて地図上で確認できない、工夫の余地はないのか。		図を拡大
85	都市総務課	22	22	名古屋市内の駅の他、尾張一宮駅、	名古屋市内の駅の他、 二宮駅 。	尾張一宮駅とすると、名鉄一宮駅を含まない、JRの駅単独であると受け取られる可能性があるため。（当該データがJR尾張一宮駅のものであれば修正不要です。）	修正不要
86	交通対策課 鉄道第1G	23	22	「B 年間輸送人員の推移」リード文	（調）約7〜8割に減少 ⇒ （正）約6〜8割に減少	・リニモ 2019年度比58%のため。 ※2019年度実績9,225千人 2020年度実績5,383千人 58.4%	意見のとおり修正
87	県民文化局	23	22	出典：数字でみる中部の運輸、愛知県統計年鑑、名古屋オープンデータ市営地下鉄 各駅乗車人員の推移	①JR東海（愛知県内）の出典から愛知県統計年鑑を削除	愛知県統計年鑑はJR東海の年間輸送人員を掲載していない。	各社の統合グラフとしたため、出典も統合。
88	県民文化局	27	22	出典：数字でみる中部の運輸、愛知県統計年鑑、名古屋オープンデータ市営地下鉄 各駅乗車人員の推移	②名古屋ガイドウェイバスの出典から愛知県統計年鑑を削除	愛知県統計年鑑は名古屋ガイドウェイバスの輸送人員を掲載していない	
89	安城市	23〜27	22	年間輸送人員の表	人員の表を2016年〜2020年で設定されていますが、コロナ後の回復傾向を確認する意味では、直近の2022年度までのデータを掲載する方がよいのではないのでしょうか。モード別の現状分析では、2021年までで分析されているので、少なくとも2021年までは示す方がよいと思われます。		各社の統合グラフとしたため、データの揃う2020年度までとする。
90	名古屋タクシー協会	23以降	22	各交通モードによって2020年度までだったり、2021年度の記載もある。鉄道だけを見て地下鉄を2020年度に修正する記載があるが、他社を2021年度に修正することではないのか（他社の実績が出ているのかどうかもあるが、2023年度に策定する計画に対して、2022年度の実績があっても良いように思われる。もう少し実績の記載方法を考えた方がよいのでは）。			
91	名古屋交通局	24	23	桜通線 中村区役所〜徳重 上飯田線 平安通〜上飯田 ●名古屋地下鉄の東山線、名城線・名港線、鶴舞線、桜通線、上飯田線。 ●総営業キロ約93.3km名古屋交通局が運営	⇒桜通線 太閤通〜徳重 ⇒上飯田線 上飯田〜平安通 ⇒削除 ⇒名古屋交通局が運営	⇒駅名変更のため ⇒起終点表記の変更のため ⇒運行路線名は表の中で表記済のため ⇒営業キロは表の中で表記済のため	表記を簡略化、「鉄道事業者」「県内区間営業キロ」「運行路線名」のみの表実する
92	交通対策課 鉄道第2G	24	23	④名古屋地下鉄 桜通線「中村区役所〜徳重」	桜通線「太閤通〜徳重」	駅名の変更	
93	交通対策課 鉄道第1G	25	23	⑥愛知環状鉄道の【備考】の記載	・1つ目の「・」、21駅⇒23駅 ・2つ目の「・」、愛知県及び沿線自治体（豊田市、瀬戸市、岡崎市）」のカッコ内に「春日井市」を追加。	・岡崎駅、高蔵寺駅を含め23駅としている。 ・春日井市も出資団体の1つ	
94	交通対策課 鉄道第2G	25	23	⑥愛知環状鉄道 【備考】 愛知県及び沿線自治体（豊田市、瀬戸市、岡崎市）	愛知県及び沿線自治体（豊田市、瀬戸市、岡崎市、春日井市）	春日井市も出資団体のため	
95	豊橋市	25	23	渥美線 新豊橋〜三河田原 17.7km	渥美線 新豊橋〜三河田原 18.0km	数字でみる中部の運輸を確認すると18.0kmです。	
96	交通対策課 鉄道第1G	26	23	⑦東海交通事業（城北線）の年間輸送人員	2017年度（調）44 ⇒（正）41 【備考】の語尾「。」重複	2016年度 408,132千人 2017年度 411,217千人 2018年度 436,105千人 2019年度 439,578千人 2020年度 383,431千人	
97	交通対策課 鉄道第1G	27	23	⑩愛知高速交通（リニモ）の年間輸送人員	2020年度（調）702 ⇒（正）538	2020年度 5,383千人	
98	県民文化局	27	23	愛知高速交通（リニモ）の2020年度年間輸送人員 702万人	愛知高速交通（リニモ）の2020年度年間輸送人員 538万人	85年度刊愛知統計年鑑の作成時に愛知高速交通より訂正報告があった。	
99	交通対策課 鉄道第2G	27	23	⑩愛知高速交通（リニモ） 【備考】 愛知県及び沿線自治体（長久手市、名古屋市、豊田市）	愛知県及び沿線自治体（長久手市、名古屋市、豊田市、日進市、瀬戸市）	日進市、瀬戸市も出資団体のため	
100	名古屋ガイドウェイバス	27	23	件名「⑩名古屋ガイドウェイバス」に愛称「ゆとりライン」を括弧書きで追記するとともに年間輸送人員の数値を訂正。また、備考欄の駅数・高架区間と平面区間を合わせたキロ数を正しい数値に訂正するとともに、名古屋市以外の出資者を「民間事業者等」と改める。具体的修正内容は添付資料参照のこと。		・あおなみ線、リニモと同様愛称を記載 ・データについて正しい数値にする ・出資規模の大きい名古屋市以外の出資者については区別せず一律に表記することが望ましい	
101	交通対策課 鉄道第2G	27	23	⑩愛知高速交通（リニモ）	⑩東部丘陵線（リニモ）	路線名を掲載するのであれば「東部丘陵線」、会社名を記載するのであれば「愛知高速交通」とお願いします。	鉄道事業者：愛知高速交通 運行路線名：東部丘陵線（リニモ）と表記
102	都市総務課	28	24	1975年の483万人から、2011年の164.9万人まで長期的に4割程度まで減少しており、	1975年の483万人から、2011年の 164万人 まで長期的に4割程度まで減少しており、	誤りであると思われるため。	意見のとおり修正
103	名古屋交通局	P28	24	①バスの輸送人員 「2011年の164.9万人」	「2011年の164.9万人」	単位が間違っていないでしょうか。	
104	名古屋市	28	24	（3）バス ①バスの輸送人員 A乗合バス ●愛知県内の乗合バスの輸送実績は、1975年の483万人から、2011年の164.9万人まで長期的に4割程度まで減少しており、	（3）バス ①バスの輸送人員 A乗合バス ●愛知県内の乗合バスの輸送実績は、1975年の483万人から、2011年の164.9万人まで長期的に4割程度まで減少しており、		
105	津島市	28	24	1975年の483万人から、2011年の164.9万人	164.9万人が正しいと思います。	単位が誤っていると考えられるため。	
106	東海市	28	24	2011年の164.9万人	164.9万人に修正		
107	交通対策課 鉄道第2G	29	25	（参考）自主運行バスの種別	現行記載をP28の表の上に移動		削除
108	名古屋交通局	29	25	「（参考）自主運行バスの種別」	—	表示位置は、凡例のすぐ上の方が良いのではないのでしょうか。	
109	東浦町	29, 30	25, 26	（3）バス A乗合バス Bコミュニティバス 自主運行バス		言いが変わる理由がわかりませんでした。区分（乗合バス？路線バス？）を統一できるなら行った方がよいと思います。デマンドを進めるなら、コミバスと併記した方がよいと思います。	基本的に「路線バス」「コミュニティバス」に表記を統一、ただし、出典が「乗合バス」となっている場合はそのまま
110	安城市	29	25	デマンド交通・自家用有償運送等の導入市町村図	安城市のデマンド交通は「実証走行」という位置づけですが、近隣市と比較すると、岡崎市のチョイソコ、矢作デマンドや、刈谷市のチョイソコが実証導入中であるにも関わらず着色がないため、一見すると整合がとれていないようにみえますが、「導入」がどのように整理されているのか、ご教授ください。		「県内市町村における自主運行バス等の運行状況」に準拠 2023年5月現在で整理予定
111	豊橋市	29	25	※自主運行バスの種別に関する意見です。	種別④行政、地元運営団体、運行事業者による運行。	豊橋市は行政、地元運営団体、運行事業者の3者で運行している。	
112	知多市	29	25	（参考）県内の市町村のコミュニティバスの導入状況、（参考）自主運行バスの種別	出典：県内市町村における自主運行バス等の運行状況のデータを、令和5年度の調査結果を反映してはどうか。	単純に最新データを反映したほうが良いのではないかと感じました。	
113	瀬戸市	29	25	地図上部に「自家用有償運送等導入」と記載 地図下部に「自家用有償運送等導入」と記載されている	「自家用有償運送等導入」には、市町村が自ら無償運行を行っているものも含まれていないので、地図下部についても「自家用有償運送等導入」と記載をお願いします。	自家用有償運送であれば、瀬戸市は該当していません。	

No.	団体名 局・課名	修正前 ページ	修正後 ページ	現行記載	修正意見	修正理由	対応案
114	名古屋市交通局	29	25	「(参考) 県内の市町村のコミュニティバスの導入状況」について、名古屋市において、『市町村が主体となって乗合事業者に運行委託されているもの』	—	具体的に何があるのでしょうか。他に、などや観光ルートバス(メーグル)の事を言っているとする、これをコミュニティバスと言えのでしょうか。	メーグルが該当 コミュニティバスとは「市町村が主体となって乗合事業者に運行委託しているもの」と整理しており、その目的は問わない
115	交通対策課鉄道第2G	29	25	(参考) デマンド交通、自家用車有償運送等の導入市町村 本文 自家用車有償運送等	自家用有償旅客運送等	道路運送法などの法令上の記載と合わせる	意見のとおり修正
116	中部運輸局	29	25	(参考) 自家用車有償運送(2箇所あり) 自家用車有償運送	自家用有償旅客運送	表記のブレ及び誤字による文言の修正	
117	愛知運輸支局	29	25	(参考) 自家用車有償運送(2箇所あり) 自家用車有償運送	自家用有償旅客運送	表記のブレ及び誤字による文言の修正	
118	北名古屋市	29	25	1行目: 自家用車有償運送等	自家用車有償運送等	誤字	
119	交通対策課鉄道第2G	30	26	②地域幹線系統の維持に関する県補助制度の対象 本文 地域幹線系統	地域間幹線系統	国土交通省の補助制度上の記載と合わせる	意見のとおり修正
120	武豊町	30	26		一番下から2行目、「下表」となっていますが、「右表」になるかと思えます。		意見のとおり修正
121	都市総務課	30	26	「②地域幹線系統の維持に関する県補助の対象路線」の記載内容	「平成29年時点」や「令和5年時点」など和暦が使用されているが、計画全体を通して西暦が使われているため、表現を統一すべきと考える。	左記のとおり。	意見のとおり修正(対応中)
122	交通対策課鉄道第2G	30	26	②地域幹線系統の維持に関する県補助制度の対象	県補助対象路線数の追記	「県補助制度の対象」というタイトルだが県補助対象路線数の記載がないため追記してどうか(本文上に記載の路線数は国庫補助の路線数?)	資料2、P31の表を削除、県補助関連の記述を追加 路線図は指摘部分を修正
123	武豊町	31	27		1番上の「令和2年度-令和5年度での・・・」の表ですが、表内、「令和5年輸送量」「令和2年輸送量」となっているため、「度」が必要かと思えます。		
124	知多市	31	27	■令和5年度の補助対象路線図(令和5年度(令和4年10月～令和5年9月)時点)	知多市～東海市～阿久比町にあいあいバス北部循環コースの路線を追記	県計画での位置づけをお願いします	
125	岡崎市	31	27		路線の修正	大沼線、岡崎・足助線で分岐する線	
126	東浦町	32	28	①路線バスの運転手の推移		言い方が変わる理由がわかりませんでした。区分(乗合バス?路線バス?)を統一できるなら行った方がよいと思えます。デマンドを進めるなら、コミバスと併記した方がよいと思えます。	基本的に「路線バス」「コミュニティバス」に表記を統一、ただし、出典が「乗合バス」となっている場合はそのまま
127	観光コンベンション局	33	29	①タクシーの状況 ・2020年度のコロナ禍の外出規制や飲食店の営業制限、観光需要の喪失等の影響を受け、対2019年比で6割程度まで利用が減少しています。	2020年度のコロナ禍の外出規制や飲食店の営業制限、観光需要の減少等の影響を受け、対2019年比で6割程度まで利用が減少しています。	コロナによりインバウンドをはじめ、観光需要の激減はあったものの、喪失とまでは言わないから。	意見のとおり修正
128	観光コンベンション局	33	29	①旅客船の状況 ・2020年度はコロナ禍での観光需要の喪失等の影響を受け、対2019年比で6割程度に利用が減少しています。	2020年度はコロナ禍での観光需要の減少等の影響を受け、対2019年比で6割程度に利用が減少しています。	同上	意見のとおり修正
129	武豊町	33	29		①、②ともに「2019年比」「2019年時点」といった記載がありますが、「度」が必要かと思えます。		意見のとおり修正
130	東浦町	34	30	3移動実態・ニーズの整理 3つめのボツ 各エリアでの特性を・・・2,657サンプルの回答を得ました。	全体で2657サンプルの回答を得ました。	下の表を見ればわかるが、文章としてわかりやすくした方がよいと思えます。	意見のとおり修正
131	常滑市	34	30	グラフの10代、20代 率の数字が重なり読めない。	読み取れるように修正する。	グラフの率が読めないため。	文字のレイアウトを工夫します
132	航空空港課	35～37, 58, 60, 62	31～33, 56, 58, 60	文字化け		文字化けしている箇所について修正願います	
133	都市整備課	35	31	表Q1-A、Q1-B、Q1-C左列		印刷時の文字つぶれ	
134	名古屋国道事務所	35, 36, 37	31, 32, 33	各ページ記載の表における左側のグレー部分の文字	文字がくぼらないように修正	文字が重なっており読むこと難いため	
135	中部運輸局	35～37	31～33	表中のグレー部分	文字が潰れています。	読めないため。	
136	愛知運輸支局	35～37	31～33	表中のグレー部分	文字が潰れています。	読めないため。	
137	小牧市	35～37, 60, 62	31～33, 58, 60	表	記載の修正	文字記載の不具合	
138	常滑市	35, 36, 37	31, 32, 33	グラフの左側、項目表記がつぶれて読めない。グラフの率が重なって読めない部分がある。	項目表記を正しい内容に修正する。読み取れるように修正する。	グラフの項目、率が読めないため。	
139	長久手市	35～37	31～33	表中の文字化け			
140	津島市	35, 36, 37, 60, 62, 86	31, 32, 33, 58, 60, 80	表のタイトル	文字が重なっており、読めなくなっているため、修正が必要かと思えます。	文字が読めないため。	
141	武豊町	35他	31他		グラフ内に数値が記載されていますが、数値同士が重なっている部分があるため、重ならないように修正が必要かと思えます。		
142	知多市	35, 36, 37, 60～ページ。※見つけられた部分のみ	31, 32, 33, 58	表の網掛け欄。60ページは地域別の公共交通ネットワークのオレンジ、緑、青の部分。	文字化けしています		
143	名古屋市交通局	36, 37, 38	32, 33, 34	—	—	表左側の文字が判別できません。	
144	名古屋国道事務所	37	33	37ページ記載の表の中の凡例の部分	文字がくぼらないように修正	文字の一部が重なっており少し読みにくい	
145	知多市	37	33	表の質問とその結果の欄	行間が詰まりすぎて、文字が重なっています		
146	常滑市	38	34	グラフの率が重なって読めない部分がある。	読み取れるように修正する。	グラフの率が読めないため。	
147	東浦町	36	32	②交通先行 ・買い物通院については・・・ ・通勤については・・・ ・買い物通院については・・・	②交通先行 ・通勤については・・・ ・買い物通院については・・・	表の構成から入れ替えた方がよいのでは	意見のとおり修正
148	交通対策課鉄道第2G	37	33	③主な移動手段 目的別の移動手段については、名古屋市内以外では8～9割が「自動車」を選択しており、通勤・通学以外では、地域による公共交通の・・・	目的別の移動手段については、名古屋市内以外では8～9割が「買い物、通院」に「自動車」を選択しており、地域による公共交通の・・・	現行の記載であると通勤・通学も含めて8～9割が「自動車」を選択しているように読み取れるため(通勤・通学の場合は6～9割)	「名古屋市内以外の買物、通院では」に修正
149	東浦町	38, 45	34, 41	①日常生活での「鉄道」や「バス・コミュニティバス」	I章P3 構成する主な交通機関 ・路線バス・コミュニティ交通・タクシー II章P20 (1) 愛知県の交通ネットワーク ボツ3つ目 路線バス・タクシー・コミュニティ交通	章が変わるところで順番が変わる?意図があればいいですが・・・	基本的に「路線バス」「コミュニティバス」に表記を統一、ただし、出典が「乗合バス」となっている場合はそのまま
150	中部運輸局	39	35	② 2ボツ目 豊田地区のみ空5割となり他地区に比べて低めとなります。	豊田地区のみは5割となり他地区に比べて低めとなります。	文脈から。	意見のとおり修正
151	愛知運輸支局	39	35	② 2ボツ目 豊田地区のみ空5割となり他地区に比べて低めとなります。	豊田地区のみは5割となり他地区に比べて低めとなります。	文脈から。	
152	常滑市	39	35	2つ目の・2行目 ・地域別では、名古屋市内を除くと、～略～、豊田地区のみ空5割となり他地区に比べて低めとなります。	・地域別では、名古屋市内を除くと、～略～、豊田地区のみは5割となり他地区に比べて低めとなります。	文言の修正。	
153	武豊町	39	35		②の2つ目の●の2行目、「地区のみや5割」となっていますが、「や」ではなく、「が」かと思えます。		
154	知多市	39	35	②よく利用する、もしくは最寄りの【鉄道駅】及び【バス停】までの距離。丸ボツ2つ目の文章。地区別では、名古屋市内を除くと、鉄道2kmの場合に約6割が含まれる状況ですが、豊田地区のみ空5割となり他地区に比べて低めとなります。	地区別では、名古屋市内を除くと、鉄道駅「2km未満」に約6割が含まれる状況ですが、豊田地区は約5割となり他地区に比べて低めとなります。に修正?	左欄文章は参考としてください	
155	中部運輸局	39	35	② 3ボツ目 名古屋市内を除き地域の量は小さくなっています。	名古屋市内を除き地域の量は小さくなっています。	文脈から。	意見のとおり修正
156	愛知運輸支局	39	35	② 3ボツ目 名古屋市内を除き地域の量は小さくなっています。	名古屋市内を除き地域の量は小さくなっています。	文脈から。	
157	常滑市	39	35	2) バス停 グラフの率が重なって読めない部分がある。	読み取れるように修正する。	グラフの率が読めないため。	文字のレイアウトを工夫します
158	常滑市	41	37	グラフの率が重なって読めない部分がある。	読み取れるように修正する。	グラフの率が読めないため。	
159	常滑市	42, 43, 46	38, 39, 42	グラフの率が重なって読めない部分がある。	読み取れるように修正する。	グラフの率が読めないため。	
160	中部運輸局	41	37	■地区ごとの「中心的な場所」と考える駅周辺 図の中に「赤色」と「ピンク色」があるが、この違いが明記されていない。	凡例をつけて、色の違いがわかるようにしていただきたい。	色の違う理由がわからないため	凡例を追記します
161	愛知運輸支局	41	37	■地区ごとの「中心的な場所」と考える駅周辺 図の中に「赤色」と「ピンク色」があるが、この違いが明記されていない。	凡例をつけて、色の違いがわかるようにしていただきたい。	色の違う理由がわからないため	
162	常滑市	42	38	1つ目の・ 【利用しても良いと思う】水準は、「10分に1本」「15分に1本」を選択する人が多くなっています。	【利用しても良いと思う】水準は、「10分に1本」「15分に1本」を選択する人が多くなっています。	回答項目の表記「10分に1本」に合わせる。	意見のとおり修正

No.	団体名 局・課名	修正前 ページ	修正後 ページ	現行記載	修正意見	修正理由	対応案
209	津島市	56	54	■対応すべき課題（前章より）の1④「山間部、半島部などでの交通需要の削減と適切な交通サービスの提供」	「山間部～」の文言の開始位置（タテ）が他とずれているので、修正したほうがよいと思います。	レイアウト統一のため	意見のとおり修正
210	知多市	56、57	54、55	1 対応すべき課題と目指すべき未来。■課題への対応が不十分な未来では～	県全体では、各市町村では、住民や組織では、の項目に、交通事業者の欄も追加すべきではないか。	交通事業者も連携した取組により、公共交通の課題解決につながると思われず。	構成については一任してください
211	交通対策課 鉄道第一G	57	55	③地域公共交通の厳しい環境の中でも、市町村内の移動が維持できている未来	記載内容に矛盾がある、または自動車への偏重を惹起させるように読める。そのため、たとえば「地域公共交通の厳しい環境の中でも、市町村内の移動が適切に維持されている未来」と記載してはどうか。		「地域公共交通の維持が厳しい環境の中でも、市町村内の移動が適切に維持されている未来」に修正
212	交通対策課 鉄道第一G	57	55	⑤の1つめの「・」利用者からの収入を原資に交通サービスを提供するかたちが理想的な姿であり…	そのとおりではあるが、過疎地における公共交通サービス維持の否定につながりかねないおそれがあり、当該文言は削除しても問題ないのでは。		意見のとおり修正
213	航空空港課	5、6、57、69	5、6、55、67	スーパーメガリジョン	日本中央回廊	内閣府発表の国土形成計画に平仄を合わせたほうがよいのでは。	意見のとおり修正 ただし、引用している図などはそのまま
214	建設局	57	55	スーパー・メガリジョンの中心地	日本中央回廊の中心地	他部署の所管内容であるが、「スーパー・メガリジョン」は死語であるため、「日本中央回廊」に変えた方が望ましいもの	
215	政策企画局	57	55	①リニア、空港、港湾を有する、スーパー・メガリジョンの中心地としての未来	①リニア、空港、港湾を有する、日本中央回廊の中心地としての未来	国土形成計画における記述に合わせる。	
216	航空空港課	57	55	国内外の玄関口となる名古屋駅、空港、港湾とのつながりも意識しながら、市町村間を結ぶ広域的な移動を県として維持・拡充しながら、県民が活動する市町村の移動と適切に結び合わせることで、よりよい未来の交通環境を創りだしていくことが求められます。	国内外の玄関口となる名古屋駅、空港、港湾とのつながりも意識しながら、市町村間を結ぶ広域的な移動を県として維持・拡充しながら、県民が活動する市町村の移動と適切に結び合わせることで、よりよい未来の交通環境を創りだしていくことが求められます。	主語の明確化	意見のとおり修正
217	都市整備課	57	55	コンパクトアンドネットワーク	コンパクト・プラス・ネットワーク	国の言い回しに統一	意見のとおり修正
218	名古屋市	57	55	①市町村の移動も、市町村外への移動もスムーズに繋がる交通環境のある未来 ●多くの市町村でコンパクトアンドネットワークを意識した・・・	①市町村の移動も、市町村外への移動もスムーズに繋がる交通環境のある未来 ●多くの市町村でコンパクトプラスネットワークを意識した・・・	国では、コンパクトプラスネットワークと表現しているため。	
219	知多市	57	55	■県全体として目指すべき未来のイメージ。③地域公共交通が利用しやすい環境づくりに、組織として積極的に取り組む未来。九がチ1つ目。～送迎バス等の提供状況により、自動車利用を中心となる状況があります。	～送迎バス等の提供状況により、自動車の利用が中心となる状況にあります。に修正？		意見のとおり修正
220	東浦町	58	56	図 バス コミュニティバス 乗合タクシー		言い方が変わる理由がわかりませんでした。区分（乗合バス？路線バス？）を統一できるなら行った方がよいと思います。デマンドを進めるなら、コミバスと併記した方がよいと思います。	基本的に「路線バス」「コミュニティバス」に表記を統一。ただし、出典が「乗合バス」となっている場合はそのまま
221	名古屋市	58-59	56-57	目指す地域交通像の下側が文字化けしています。			文字のレイアウトを工夫します
222	中部運輸局	58	56	表内	左端の縦の部分で文字が潰れています。	読めないため。	
223	愛知運輸支局	58	56	表内	左端の縦の部分で文字が潰れています。	読めないため。	
224	常滑市	58	56	図の左側の縦書きの部分がつぶれていて読めない。	正しい内容を記載する。	文言がつぶれていて読めないため。	
225	大府市	58ほか	56ほか			表中の文字化け	
226	長久手市	58	56	図中の文字化け			
227	豊橋市	58、60、62	56、58、60	複数文字化け			
228	名古屋国道事務所	59	57	59ページ方針3の下部の交通事業者、県民・企業凡例の部分の左の文字	文字がかぶらないように修正	文字が重なっており読むこと難しいため	
229	中部運輸局	59	57	表下段	イラストの下の縦の部分で文字が潰れています。	読めないため。	
230	愛知運輸支局	59	57	表下段	イラストの下の縦の部分で文字が潰れています。	読めないため。	
231	名古屋国道事務所	60	58	60ページ左下に記載の表の左の部分	文字がかぶらないように修正	文字が重なっており読むこと難しいため	
232	名古屋市交通局	60、62	58、60	—	—	表左側の文字が判別できません。	
233	名古屋市	60	58	地域別の公共交通ネットワークの表が文字化けしています。			
234	中部運輸局	60	58	左下の表の左端	左端の縦の部分で文字が潰れています。	読めないため。	
235	愛知運輸支局	60	58	左下の表の左端	左端の縦の部分で文字が潰れています。	読めないため。	
236	常滑市	60	58	下の図、項目がつぶれていて読めない。	正しい内容を記載する。 (上から、広域交通、市町村間交通、市町村内交通と思われます。)	文言がつぶれていて読めないため。	
237	都市整備課	62	60	表左列		印刷時の文字つぶれ	
238	名古屋国道事務所	62	60	62ページ記載の表の左の関係主体の部分	文字がかぶらないように修正	文字が重なっており読むこと難しいため	
239	名古屋市	62	60	関係主体の下側、文字化けしています。			
240	尾張旭市	62	60	関係主体の国以外の表記が、文字化けしてしまっている状況となっている。	国以外の表記を修正する。	修正を実施した方が、より県民に分かりやすい資料となるように感じるため。	
241	中部運輸局	62	60	表2段目以降	左端の縦の部分で文字が潰れています。	読めないため。	
242	愛知運輸支局	62	60	表2段目以降	左端の縦の部分で文字が潰れています。	読めないため。	
243	常滑市	62	60	表の関係主体の項目がつぶれていて読めない。	正しい内容を記載する。 (上から、国、県、市町村、交通事業者と思われます。)	文言がつぶれていて読めないため。	
244	長久手市	62	60	表中、関係主体列の文字化け			
245	名古屋タクシー協会	58、59、75	56、57、71	難しい話ではありますが、政府の規制緩和推進会議（デジタル行政改革会議）で議論されていること（例えば、自家用有償運送の在り方など）について、中部運輸局に相談されたい（現状では78条2号・3号の見直しは報道等であるが、その先の議論は先送りされていることを踏まえて、どこまで整理できるかは不明）。特にP75のコラムにある給は国交省のラストワンマイル検討会12の施策の一部が見直しされる可能性があるようにも思われることから、記載できる範囲で検討願いたい。			現在、国において議論されているところであり、行方を見守ることとします。
246	交通対策課 鉄道第一G	60	58	目指すべき地域公共交通ネットワーク	【尾張地区】のみ、「官民が連携し」としているのはなぜでしょうか。		「官民が連携し」を削除
247	名古屋市	60	58	【尾張地域】では、鉄道沿線に人口、産業が集積し、名古屋とのつながりが充実しており、郊外地域間を地域鉄道や路線バスがつながることで、市町村間交通が形成されています。名古屋を中心とした放射+環状のネットワークを官民が連携し維持・充実していきます。	【尾張地域】では、鉄道沿線に人口、産業が集積し、名古屋地区or名古屋市とのつながりが充実しており、郊外地域間を地域鉄道や路線バスがつながることで、市町村間交通が形成されています。名古屋を中心とした放射+環状のネットワークを官民が連携し維持・充実していきます。	対象区域として名古屋地区としていることから、名古屋地区にするのか、名古屋とする場合、ここでは名古屋市を指しているのではないのでしょうか。	「名古屋市」に修正
248	名古屋市	60	58	【東三河地域】では、名古屋・静岡に繋がり、かつ南北の鉄道軸・・・	【東三河地域】では、名古屋地区or名古屋市・静岡に繋がり、かつ南北の鉄道軸・・・	対象区域として名古屋地区としていることから、名古屋地区にするのか、名古屋とする場合、ここでは名古屋市を指しているのではないのでしょうか。	
249	愛知運輸支局	60	58	地域ごとの方針等の記述 【東三河地区】 「…豊橋を中心とした交通ネットワークを維持しながら、とくに…」	「…豊橋を中心とした交通ネットワークを維持します。とくに…」	10月2日の部会での議論の内容を踏まえたものになっていないと思います。 (その理由があれば教えてください。)	意見のとおり修正
250	名古屋市	67	65	2 県の具体的な取組、それぞれ該当ページが合ってません。			意見のとおり修正
251	中部運輸局	67	65	右端の各ページ数	P68以降のページ数とズレているため、修正が必要と思います。	不整合が生じているため。	
252	愛知運輸支局	67	65	右端の各ページ数	P68以降のページ数とズレているため、修正が必要と思います。	不整合が生じているため。	
253	津島市	67	65	ページ数	ページ数がずれているため、修正が必要かと思えます。 ※1-1-1から3-1-2までは2ページずれており、3-2-1と3-2-2は3ページずれています。	誤字脱字等	
254	名古屋市	67	65	2 県の具体的な取組 2-1-2 タクシー等を活用した新たな交通サービスの支援について、以降タイトルが合ってません。(P75、P84)		P75取組2-1-2 地域のニーズに応じた新たな交通サービスの支援、P84施策2-1-2地域のニーズに応じた新たな交通サービスの支援となっています。	意見のとおり修正
255	中部運輸局	67	65	2-1-2 タクシー等を活用した新たな交通サービスの支援	他ページでは「地域のニーズに応じた新たな交通サービスの支援」とあり、表現を統一いただく必要があると思います。	不整合が生じているため。	
256	愛知運輸支局	67	65	2-1-2 タクシー等を活用した新たな交通サービスの支援	他ページでは「地域のニーズに応じた新たな交通サービスの支援」とあり、表現を統一いただく必要があると思います。	不整合が生じているため。	
257	名古屋市	67	65	2 県の具体的な取組 2-2-IDX・GXの新技術の積極的導入の支援	2 県の具体的な取組 2-2-IDX・GXの新技術の積極的導入の支援 (MaaS、自動運転、オープンデータ化など)ではないでしょうか。		P76の()を削除

No.	団体名局・課名	修正前ページ	修正後ページ	現行記載	修正意見	修正理由	対応案
258	津島市	67	65	1-1-2、2-1-2、2-2-1、2-2-4、3-1-1	タイトルが、次ページ以降の小見出しと一致していないため、一致させたほうがよいと思います。 【例】1-1-2 ・現行：空港・港湾と県内各地をつなぐ広域交通の維持・充実 ・修正後：空港・港湾と県内各地をつなぐ広域交通ネットワークの維持	表記統一のため	意見のとおり修正
259	名古屋市	68	66	「コラム 名古屋駅のスーパーターミナル化」の掲載図面について	出典を表記ください	他の計画等に当該図面を掲載いただく際は、出典を表記いただいております。 「あいち交通ビジョン」より引用されているかと思いますが、同様に記載いただくのがよろしいかと思っております。	愛知県「中京大都市圏づくり」HPから引用元データ 名古屋市「名古屋駅前広場の再整備プラン（中間とりまとめ）」
260	観光コンベンション局	69	67	将来的なクルーズ需要の増加を見据え、賑わいのある港湾空間の形成や大型船舶の受け入れ可能な岸壁・ターミナルの整備を図ります。【港湾課】【観光コンベンション局】	将来的なクルーズ需要の増加を見据え、賑わいのある港湾空間の形成や大型船舶の受け入れ可能な岸壁・ターミナルの整備を図ります。【港湾課】 【観光コンベンション局】	クルーズ需要増加に向けた岸壁・ターミナルの整備については、当局における取組に該当しないため。	局名、課名は掲載しない前提で意見照会しています
261	建設局	69	67	スーパー・メガリジョン	日本中央回廊	他部署の所管内容であるが、「スーパー・メガリジョン」は死語であるため、「日本中央回廊」に変えた方が望ましいもの	出典を明記 図は引用元に変更がないためそのまま
262	政策企画局	69	67	コラム スーパー・メガリジョンの形成と中部国際空港 ・・・ 中部国際空港は、スーパー・メガリジョンの中央に・・・	コラム 日本中央回廊の形成と中部国際空港 ・・・ 中部国際空港は、日本中央回廊の中央に・・・ 図中：スーパー・メガリジョン→日本中央回廊	国土形成計画における記述に合わせる。	
263	津島市	69	67	上から1行目「アクセス交通手段のサービス」	意味合いが伝わりにくいため、わかりやすい表記にしたほうがよいと思います。	意味合いが伝わりにくいため。	「交通手段のサービス」を削除
264	田原市	69	67	P69取組1-1-2「空港・港湾と県内各地をつなぐ広域交通ネットワークの維持」	伊勢湾フェリーの航路の維持について、県計画で記載願いたい。	令和5年9月8日照会に回答させていただいた問-2、4-2関連	対象としては含みますが、伊勢湾フェリーに対する個別の件の施策がないため、明記しません。
265	交通対策課 鉄道第1-6	70, 71	66, 67, 68	鉄道の維持・確保（JR、各鉄、近鉄） 鉄道の維持・確保（豊鉄、愛環、城北線、リニモ）	1. 「1-1-3」と「1-2-1」の区分が不明確。 鉄道は、規模の大小にかかわらず「県内の公共交通の骨格をなす」ことは変わらないと思われず（バスとの相対的な位置関係でみれば）。そのため、大手民鉄、地鉄・三セク問わず1項目としてはいかがでしょうか。 2. 名古屋市内完結路線（地下鉄、あおなみ）は対象外でしょうか？取組計画の対象外なので記載していないこと⇒上記1.への対応として、鉄道をひとまとめにし、表題に路線名を列記しなければ問題ないと思っておりますがいかがでしょうか。		主として広域交通の役割が強いが、市町村間交通の役割が強いと分けています。あおなみ線、名古屋市地下鉄は名古屋市内の市町村間交通と整理しています。「1-1-3」の内容は「1-1-1」「1-1-2」及び「1-2-1」に統合、表題の（）を削除
266	都市整備課	70	66	都市内交通の円滑化や分散された	都市内交通の円滑化と鉄道により分散された	追記	意見のとおり修正
267	都市整備課	70	67	コラム		時点更新 写真差し替え	提供された写真に差し替え
268	都市総務課	70	67	「コラム 県内の連続立体交差事業」の記載内容	「令和5年度現在」や「令和10年度」など和暦が使用されているが、計画全体を通して西暦が使われているため、表現を統一すべきと考える。	左記のとおり。	意見のとおり修正
269	津島市	70	66	上から8行目「障害者用トイレ」	今は、「バリアフリートイレ」と表記することが多いように思います。	バリアフリー整備ガイドライン（国土交通省）	意見のとおり修正
270	交通対策課鉄道第2G	71	68	愛知高速交通（リニモ）	東部丘陵線 （リニモ）	路線名を掲載するのであれば「東部丘陵線」、会社名を記載するのであれば「愛知高速交通」をお願いします。	（）を削除
271	交通対策課鉄道第2G	71	68	●計画的な地域鉄道の維持・確保に向けて、リニモ沿線地域づくりプランなど沿線市町村と連携した計画策定・改訂するとともに、計画に基づく取組を推進します。	●リニモ沿線地域づくり重点プランに掲げた取組を沿線市等とともに推進します。	リニモ以外の鉄軌道においてプランやビジョンを策定する予定はないため。	鉄2の意見のとおり修正
272	津島市	71	68	上から5行目「計画策定・改訂するとともに」	「計画策定・改訂をする」と同じが正しい表記かと思えます。	誤字脱字等	
273	津島市	71	68	上から8行目「障害者用トイレ」	今は、「バリアフリートイレ」と表記することが多いように思います。	バリアフリー整備ガイドライン（国土交通省）	意見のとおり修正
274	都市計画課	73	69	地域公共交通ネットワークの再構築に必要な鉄道施設、バス施設の整備を行うため、社会資本整備総合交付金などの活用に向けた各市町村の取組を支援します。【都市計画課】【交通対策課】	【都市計画課】とありますが、本課所管の何の事業を想定しているのか、具体的な事業名を教えてください。		社会資本整備総合交付金の取りまとめを想定しています。
275	都市整備課	73	69	各市町村の取り組みを支援します。	各市町村や民間事業者の取り組みを支援します。	65より地域公共交通再構築事業の事業者として、地方公共団体からの補助金を受けて、民間事業者等も事業実施可能とされたため。	「各市町村や交通事業者」と修正
276	名古屋市交通局	73	69	【県の取組】 二項目目の「交通事業者や市町村と連携し、利用しやすいダイヤや運賃の調整を図り」	—	具体的にはどのような取組でしょうか。	公共交通会議での協議を意味します
277	交通対策課 モビリティサービス推進G	75	71	○鉄道や路線バス等の・・・タクシー、シェアサイクル・マイクロモビリティ	○鉄道や路線バス等の・・・タクシー、 乗合タクシー 、シェアサイクル・マイクロモビリティ	国土交通省「ラストワンマイル・モビリティの現状について」では、「タクシー・乗合タクシー・自家用有償旅客運送」がラストワンマイル・モビリティされているため。	意見のとおり修正
278	名古屋市	75	71	いわゆるラストワンマイル、ファーストワンマイルの移動手段の確保を支援するため、タクシー、シェアサイクル、マイクロモビリティ等の新モビリティ、・・・		マイクロモビリティについて、P3対象とする交通機関に入っていないように思います。	P3の県計画の対象モードとしてはマイクロモビリティは含まれません（市町村間交通であるため） ただし、県計画に基づき市町村を支援する場合にはマイクロモビリティも対象となります。
279	都市総務課	75	71	「コラム タクシー等の制度・運用などの改善策」の記載内容	「令和5年度」と和暦が使用されているが、計画全体を通して西暦が使われているため、表現を統一すべきと考える。	左記のとおり。	コラムを差し替え
280	交通対策課 モビリティサービス推進G	76	72	○各市町村が自動運転やAIデマンド、MaaS等の・・・	○各市町村が自動運転やAIデマンド、 交通 、MaaS等の・・・		「AIデマンド」を「デマンド交通」に修正
281	名古屋市	76	72	1つ目の●各市町村が自動運転やAIデマンド、・・・	●各市町村が自動運転やAI技術を活用したデマンド型交通にした方が、対象とする交通機関と内容の繋がりが良いように感じました。		
282	経済産業局	76	72	・各市町村が自動運転やAIデマンド、MaaS等の新しい情報通信技術を活用した取組に積極的に参加できるよう、交通DXの先進的な実証実験の事例の情報収集・提供を行います。	・各市町村が自動運転やAIデマンド、MaaS等の新しい情報通信技術を活用した取組に積極的に参加できるよう、交通DXの先進的な実証実験の事例の情報収集・提供を行います。	朱書き見え消した部分以外については、修正なし。（朱書き見え消し部分については、所管外） ※「IoTを活用した…」と「2050年までの…」の項目については所管外	交通対策課での取り組みを想定そのままとします
283	経済産業局	77	73	・自動運転による運転手支援や、整備手順の効率化支援など、人材不足を補完する最新技術の導入を支援します。	・自動運転の実証実験や実装を支援することで、運転手不足等の課題解決を支援します。	「運転手支援」→具体的に何を指しているのかが不明瞭 「整備手順の効率化支援」→所管外 上記等ことから、経済産業局（次世代産業局）所管の内容にしたため。	当該文章を削除
284	教育委員会	77	73	県内の学校等に対して、県内交通事業者への就職支援等の取組を進めます。	削除。	地域公共交通に限定した進路指導は行っていないため。	意見のとおり修正
285	教育委員会	77	73	小中学校、高等学校等でのキャリア教育、就業教育の場を活用し、児童、生徒、学生が地域の交通事業者と接触できる機会を増やし、将来的な運転手、整備士などの確保につなげていきます。	小中学校、高等学校等でのキャリア教育 就業教育 の場を活用し、 地域や産業界等との連携を図りながら、地域の公共交通事業者との活躍を目指す児童、生徒に対して、進路指導など支援していく。 「学生が地域の交通事業者と接触できる機会を増やし、将来的な運転手、整備士などの確保につなげていきます。」	地域公共交通に限定した進路指導は行っていないため。	意見のとおり修正
286	労働局	77	73	地域公共交通を支える運転手や整備士などの不足に対して、交通事業者が取り組む求人活動や職場環境の改善について就業支援のイベントやセミナーなどの支援を行います。【労働局】	地域公共交通を支える運転手や整備士などの不足に対して、交通事業者が取り組む求人活動や職場環境の改善について就業支援のイベントやセミナーなどの支援を行います。【労働局】	特定の分野の人材確保対策は、原則、業界所管があるため、担当部局ではないと言えないのではないか（調整中）	
287	豊橋市	77	73	バス・タクシーの運転手確保に関する取組事例 現行記載なし	追加： 取組事例：バス・タクシー運転手確保のための支援・取組 事業者（団体）名：豊橋市 事業区分：バス・タクシー 掲載年月日：2019年7月	豊橋市でもバス・タクシー運転手確保事業を実施しているため。	豊橋市の取り組みを表に追記
288	名古屋タクシー協会	77	73	コラムについて	取組事例が古い、2021年以降何もやっていない様に見える。 最近の事例が必要では（運輸局のサイトの更新がされているかどうか、新しい事例があるかどうか）、国交省では二種免許取得費用の支援、求職者向けのイベント開催、広報費の助成支援が行われている。愛知県内には少ないが、（国交省では）他県における県・市町が実施している人材確保支援などが網羅的に整理されている。		
289	名古屋市交通局	78	74	【県の取組】 一項目目の「乗り継ぎ運賃やダイヤ等の調整に関して、関係する市町村や交通事業者との調整を支援します。」	—	具体的にはどのような取組にどのような支援をされているのでしょうか。	地域公共交通会議での協議や個別相談への対応
290	中部運輸局	78	74	取組2-2-3 2ボツ目 関係者間の調整を支援します。	関係者間の調整を支援します。	修正が必要と思われるため。	意見のとおり修正
291	愛知運輸支局	78	74	取組2-2-3 2ボツ目 関係者間の調整を支援します。	関係者間の調整を支援します。	修正が必要と思われるため。	
292	津島市	78	74	上から1行目「乗り継ぎ利便性の向上に向けて、乗り継ぎ運賃（以下略）」	小見出し「乗継利便性」と表記されているため、文章中の「乗り継ぎ」も「乗継」の表記に統一したほうがよいと思います。	表記統一のため	「乗り継ぎ」に統一
293	交通対策課 モビリティサービス推進G	79	74	○観光・レジャー、交流の観点からの・・・観光MaaSの取組支援等を行います。【観光コンベンション局】	○観光・レジャー、交流の観点からの・・・ MaaS の導入促進を行います。【観光コンベンション局・交通対策課】	観光はMaaSの目的の1つであり、取組としては、当該で行っている「MaaSの導入促進」の方がふさわしいため	意見のとおり修正

No.	団体名 局・課名	修正前 ページ	修正後 ページ	現行記載	修正意見	修正理由	対応案
294	観光コンベンション局	79	74	観光・レジャー、交流の観点からの地域公共交通の利便性の向上及び利用促進を図るため、県の観光イベント等での公共交通利用の促進や、民間観光施設等と連携した観光ツアーの販売、観光Maasの取組支援等を行います。【観光コンベンション局】	観光・レジャー、交流の観点からの地域公共交通の利便性の向上及び利用促進を図るため、県の観光イベント等での公共交通利用の促進や、運輸機関や旅行会社等と連携した商品造成等を行います。【観光コンベンション局】	鉄道と観光施設をセットにした商品造成等を行っているため、Maasの取組支援は具体的な事業がないため、明記を避けたい。	意見のとおり修正 Maas部分は交通対策課所管と整理
295	防災安全局	79	74	高齢化の進展に伴い、公共交通利用の促進や運転免許の返納などの取組を推進し、交通事故の軽減や、～	交通事故の減少	言葉の誤用のため	「減少」に修正
296	津島市	79	74	上から4行目「交通事故の軽減」	「交通事故の防止」のほうが適切な表現だと思います。	誤字脱字等	
297	防災安全局	79	74	大規模な地震や風水害などの緊急時において、県民の日常生活が早期に取り戻すことができるよう、防災分野の取組と連携して、交通分野における各事業者、各市町村の事業継続計画（BCP）の策定及び適正な運用を支援します。	大規模な地震や風水害などの災害時において、県民の日常生活に密着した地域公共交通が、できる限り営業を継続し、早期に復旧できるよう、交通分野における各事業者の事業継続計画（BCP）の策定及び適正な運用を支援します。	地域公共交通計画であり、交通に関連した記載にすぎないか、市町村のBCPは、災害時の地域公共交通の営業継続や復旧に関係がない。防災安全局は、「各市町村の事業継続計画（BCP）」の策定や改訂の支援について所管しているが、当該記載を削除するのであれば、所管局として防災安全局の記載は削除してもらいたい。なお、中小企業のBCP策定支援は、中小企業金融課が行っている。	「大規模な地震や風水害などの災害時において、県民の日常生活に密着した地域公共交通が、できる限り運行を継続し、早期に復旧できるよう、各事業者の事業継続計画（BCP）の策定及び適正な運用を支援します。」に修正
298	津島市	79	74	上から10行目「県民の日常生活が早期に取り戻すことができるよう」	「県民の日常生活を早期に取り戻すことができるよう」が正しい表記かと思えます。	誤字脱字等	
299	愛知運輸支局	79	74	コラム 2行目 トリップ単位での移動ニーズに対応して、	トリップ単位での移動ニーズに対応して、	スペースが空いていたため。	意見のとおり修正
300	中部運輸局	79	74	コラム 2行目 トリップ単位での移動ニーズに対応して、	トリップ単位での移動ニーズに対応して、	スペースが空いていたため。	
301	武豊町	79	74		下段の「コラム Maas（マース）とは」ですが、2行目「単位での移動」、4行目「それ以外」のようになっており、文字の間に不要な空白があるかと思えます。※こちらのパソコンによる表示でしたら申し訳ございません		
302	交通対策課 モビリティサービス推進G	80	75	コラム 愛知県「パーク&ライド利用促進モデル事業」	できれば別のコラムへの変更をお願いしたい。	令和4・5年度限りのモデル事業であり、策定時には実施していないため。なお、パーク&ライドについては、HPでの情報提供程度で特段の事業は行っていない。	コラム差し替え
303	中部運輸局	80	75	施策3-1 県民、来街者等の個人単位の積極利用を促す取組の実施	P66では「県民、来街者等の個人単位の積極利用を促す取組の実施」とあり、表現を統一いただく必要があると思います。	不整合が生じているため。	意見のとおり修正
304	愛知運輸支局	80	75	施策3-1 県民、来街者等の個人単位の積極利用を促す取組の実施	P66では「県民、来街者等の個人単位の積極利用を促す取組の実施」とあり、表現を統一いただく必要があると思います。	不整合が生じているため。	
305	常滑市	80	75	施策3-1 県民、来街者等の個人単位の積極利用を促す取組の実施	施策3-1 県民、来街者等の個人単位の積極利用を促す取組の実施	取組3-1-2 では来訪者と記載しているため、表記を統一。	
306	津島市	80	75	中見出し「施策3-1 県民、来街者等の個人単位の積極利用を促す取組の実施」	66ページの表記は「来訪者」となっており、また3-1-2の小見出しのタイトルが「観光客・来訪者」となっていることから、「来訪者」に表記を統一したほうがよいと思えます。	表記統一のため	
307	スポーツ局	81	76	【取組3-1-2内】 2026年アジア競技大会 【コラム内】 2026年度 アジア競技大会開催	【取組3-1-2内】 2026年のアジア競技大会及びアジアパラ競技大会 【コラム内】 2026年度 アジア競技大会及びアジアパラ競技大会開催	双方アジアパラ競技大会が記載されていないため追記。	文章は意見のとおり修正
308	観光コンベンション局	81	76	土地勘のない観光客や来訪者等が国語、言語などを問わず、不自由なく移動できるよう、多言語化や分かりやすい誘導案内の充実を図ります。	土地勘のない観光客や来訪者等が国語、言語などを問わず、不自由なく移動できるよう、多言語による電話案内サービスを提供します。	具体的に実施している事業内容に沿った文章に修正。	意見のとおり修正
309	県民文化局	81	76	土地勘のない観光客や来訪者等が国語、言語などを問わず、不自由なく移動出来るよう、多言語化や分かりやすい誘導案内の充実を図ります。	来訪者後に、「外国人県民」を加える。	人口の約4%を占める外国人県民の視点が必要であるため。	意見のとおり修正
310	津島市	81	76	上から1行目「2022年のジブリパーク開園や、2026年アジア競技大会」	同じページのコラムには、2022年度ジブリパーク開園、2026年度アジア競技大会となっていることから、「年」か「年度」どちらかに表記を統一したほうがよいと思えます。	表記統一のため	「年度」に統一
311	交通対策課 モビリティサービス推進G	82	77	コラム エコ・モビリティライフ 「エコモビリティライフ」（略して「エコモビ」）とは、環境（エコロジー）の「エコ」、移動の「モビリティ」、生活の「ライフ」をつなげたことばで、クルマ（自家用車）と電車・バス等の公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分けて、環境にやさしい交通手段を利用するライフスタイルです。 「エコモビリティライフ」は、地球温暖化対策、交通事故や交通渋滞などの都市問題対策、地域住民の健康対策など、様々な効果・メリットがあります。国、市町村、事業者、各種団体、NPOなどと協力して、環境にやさしい交通行動を軸としたライフスタイル「エコモビリティライフ」を県民運動として進めています。	コラム エコモビリティライフ 「エコモビリティライフ」（略して「エコモビ」）とは、環境の「エコ」、移動の「モビリティ」、生活の「ライフ」をつなげたことばで、クルマと公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分けるライフスタイルをいいます。 本県では、「あいちエコモビリティライフ推進協議会」（会長：愛知県知事）を中心に、行政・企業・各種団体・NPO等との連携・協働のもと、環境にやさしい交通行動「エコモビリティライフ」を県民運動として推進しています。 一人一人が、「エコモビ」を実践することにより、地球環境にやさしいだけでなく、安全で健康的な県民生活や、機能的で活力あるまちづくりの実現につながります。	タイトル誤り 若干の文章修正	意見のとおり修正
312		82	77		図の変更	図が古いため、活動内容を表す図に変更	意見のとおり修正
313	津島市	82	77	上から2行目「基本とした取り組み」 上から5行目「定期券の販売を行うなどの取り組み」	名詞の「とりくみ」は「取組み」ではなく「取組」と表記していることが多いように思えますので、統一したほうがよいと思えます。	表記統一のため	名詞は「取組」、動詞は「取組み」「取組む」に統一
314	交通対策課 鉄道第一G	84	78	役割分担表	「1-1-3」鉄道の維持・確保（JR、名鉄、近鉄）市町村欄に「○」を追記		項目を削除
315	名古屋市	84	78	3取組の推進に向けた役割分担 1-1-1エリア開業を見据えた広域交通の維持・充実 1-1-1空港・港湾と県内各地をつなぐ広域交通ネットワークの維持 1-1-3鉄道の維持・確保（JR、名鉄、近鉄）	県の取り組みの連携先として、既存の施設は市町村に存在します。市町村欄に○が入るかと思いますが、当該箇所は、施設ではなく、ネットワークとして捉えていることから○が入らないという意味でしょうか。取組1-1-1エリア開業を見据えた広域交通の維持・充実の文章中には、名古屋駅のスーパーターミナル化に取り組みます。とあり、愛知県と名古屋で負担しているため、○が入るべきだと思います。		該当する市町村が名古屋のみである場合や、広域交通である場合は市町村欄に「○」は付さない（10月作業部会で説明済み）
316	名古屋市	84	78	3取組の推進に向けた役割分担		表について、大項目、小項目、施策とあり、施策ではなく取組ではないでしょうか。	「方針」「施策」「取組」に整理
317	中部運輸局	84	78	表	「県の取り組みの連携先」の「国」欄ですが、10月2日の部会に出席している愛知運輸支局からは、資料では「国」欄は全て○が付されていたと聞いています。「国」欄には、全て○を付していただきたいです。	これまでの経緯を踏まえ。	意見のとおり修正
318	愛知運輸支局	84	78	表	「県の取り組みの連携先」の「国」欄ですが、10月2日の部会に出席している愛知運輸支局からは、資料では「国」欄は全て○が付されていたと聞いています。「国」欄には、全て○を付していただきたいです。	これまでの経緯を踏まえ。	
319	津島市	84	78	上から1行目「活発な地域経済を支え続ける 地域公共交通」	文章中にスペースが1字分あったので、削除したほうがよいと思えます。	誤字脱字等	意見のとおり修正
320	津島市	84	78	表 1行目5列目「県の取り組みの連携先」の「県民等」	表の上の文章では、「住民や民間事業者とともに」と記載されているため、「県民等」ではなく「住民等」の表記にしたほうがよいと思えます。	表記統一のため	「県民」に統一
321	津島市	84	78	表 小項目「施策3-1 県民、来街者等の個人単位の積極利用を促す取組の実施」	80ページの修正に合わせて、「来街者」を「来訪者」に修正したほうがよいと思えます。	表記統一のため	意見のとおり修正
322	小牧市	85	79	1. 計画の進捗管理及び事業効果検証のための指標指標の設定 2. 計画の評価・検証体制	目次と記載を合わせる	目次記載との不一致	意見のとおり修正
323	豊橋市	85	79	1. 計画の進捗管理及び事業効果検証のための指標指標の設定	1. 計画の進捗管理及び事業効果検証のための指標の設定	指標が重複している。	
324	名古屋交通局	86	80	②計画の進捗管理スケジュール 表中、愛知県地域公共交通計画の期間「本計画（2023～2026年度）」	②計画の進捗管理スケジュール 「本計画（2024～2026年度）」	年数が間違っていないでしょうか。	
325	名古屋市	86	80	①PDCAサイクルに基づく計画推進 ②計画の進捗管理スケジュール		PDCAサイクルのPlan、Do、Check、Actionについて、上は大文字で、下の表が小文字なので統一された方がわかりやすいと思えます。	意見のとおり修正
326	名古屋市	86	80	計画の進捗管理スケジュールが文字化けしています。			文字のレイアウトを工夫します
327	中部運輸局	86	80	1②	左端の縦の部分が文字が潰れています。	読めないため。	
328	愛知運輸支局	86	80	1②	左端の縦の部分が文字が潰れています。	読めないため。	
329	中部運輸局	86	80	1① 2ボツ目 計画期間5年間で1サイクルするスケジュールとし、	計画期間約3年間で1サイクルするスケジュールとし、	計画期間は約3年間と思われるため。	「約3年間」に修正
330	愛知運輸支局	86	80	1① 2ボツ目 計画期間5年間で1サイクルするスケジュールとし、	計画期間約3年間で1サイクルするスケジュールとし、	計画期間は約3年間と思われるため。	
331	常滑市	86	80	2つ目の・3行目 ・そのため、計画全体の「策定」から ～略～ ～については、計画期間5年間で1サイクルするス ～略～	・そのため、計画全体の「策定」から ～略～ ～については、計画期間の約3年間で1サイクルするス ～略～	期間の訂正。	
332	津島市	86	80	①の上から9行目「計画期間5年間で1サイクル」	②の図では、R5がPLAN（策定）となっており、図を見る限りだと、4年間1サイクルだと思われしますので、「4年間で1サイクル」に修正したほうがよいと思えます。	誤字脱字等	
333	中部運輸局	86	80	1②	国の補助事業（幹線補助など）については、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第3条第5項、及び、地域公共交通確保維持改善事業実施要綱8.(1)①により、協議会として毎年度自己評価を行う必要があります。については、計画期間全体のスケジュールの中に毎年度のスケジュール（例：進捗点検・評価等）も盛り込むか、あるいは、別途、毎年度のスケジュールを下の余白部分に付記いただけると分かりやすいかと思えます。	国の補助事業については自己評価が必要となるため。	書き方を含めて運輸局、支局と相談
334	愛知運輸支局	86	80	1②	国の補助事業（幹線補助など）については、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第3条第5項、及び、地域公共交通確保維持改善事業実施要綱8.(1)①により、協議会として毎年度自己評価を行う必要があります。については、計画期間全体のスケジュールの中に毎年度のスケジュール（例：進捗点検・評価等）も盛り込むか、あるいは、別途、毎年度のスケジュールを下の余白部分に付記いただけると分かりやすいかと思えます。	国の補助事業については自己評価が必要となるため。	

No.	団体名 局・課名	修正前 ページ	修正後 ページ	現行記載	修正意見	修正理由	対応案
335	津島市	86	80	②の3行目「各取組については、市町や交通事業者（以下略）」	「市町」ではなく「市町村」にしたほうがよいと思います。	誤字脱字等	意見のとおり修正
336	中部運輸局	88～	82～	指標1-①ほか	指標というよりは補足になりますが、データ取得方法やデータ取得時期などについては予め想定をお願いいたします。	データ取得が困難なものや、著しくデータ取得時期が他の指標とズレるものなどがある場合、当該データを指標とすることで支障ないか、予め想定いただきたいため。	データの種類、取得方法を追記
337	愛知運輸支局	88～	82～	指標1-①ほか	指標というよりは補足になりますが、データ取得方法やデータ取得時期などについては予め想定をお願いいたします。	データ取得が困難なものや、著しくデータ取得時期が他の指標とズレるものなどがある場合、当該データを指標とすることで支障ないか、予め想定いただきたいため。	
338	津島市	88	82	上から6行目「(2)地域公共交通が実際に利用されること」	90ページの中見出しは「(2)地域公共交通の利用を支える体制ができること」となっているため、表記を統一したほうがよいと思います。	表記統一のため	意見のとおり修正
339	津島市	88	82	(1)の上から7行目「国の地域幹線バス」	「国の地域間幹線バス」が正しい表記かと思えます。	誤字脱字等	「地域間幹線系統のバス」に修正
340	交通対策課鉄道第2G	88	82	(1)適切な地域公共交通ネットワークが維持されること 本文「地域幹線バス」	「地域間幹線系統」	同じものを想定しているのであれば、記載を統一した方が分かりやすいのでは、区別しているのであれば、無視してください。	
341	県民文化局	90	85	うち愛知高速交通 702万人	うち愛知高速交通 538万人	85年度刊愛知統計年鑑の作成時に愛知高速交通より訂正報告があった。	事業者ごとの数値は削除
342	愛知環状鉄道	90	85	数値目標のうち愛知環状鉄道の将来目標（令和8年度）について、令和元年度の水準への回復を目指すとのことで1,884万人とされています。	修正意見ではありませんが、当社としましては、テレワークの定着等で令和元年度の水準には戻らない（令和5年12月20日に公表しました旅客運賃改定認可申請の資料では、令和8年度の推定は1,564万人）と説明しており、当社では説明できない目標数値となっています。	修正意見ではありませんが、当社では説明できない目標数値であることを、お伝えさせていただきます。	
343	都市総務課	90～92	84～86	「指標2-①」、「指標2-②」、「指標2-③」、「指標2-④」、「指標2-⑤」及び「指標2-⑥」の記載内容	「令和2年度」や「令和8年度」など和暦が使用されているが、計画全体を通して西暦が使われているため、表現を統一すべきと考える。	左記のとおり。	西暦に統一
344	交通対策課鉄道第2G	90	84	指標2-① 市町村間を跨ぐ鉄道の年間輸送人員の表下 名古屋市営地下鉄、豊橋鉄道（市内線）名古屋臨海高速鉄道（あおなみ線）、名古屋ガイドウェイバスは市内完結のため除く	名古屋市営地下鉄、豊橋鉄道（市内線）名古屋臨海高速鉄道（あおなみ線）、名古屋ガイドウェイバスは除く	名古屋市営地下鉄の鶴舞線は日連市（赤池駅）まで路線が伸びており、市内完結とは言えないため。	意見のとおり修正
345	交通対策課鉄道第2G	91	85	指標2-② 複数の市町村に跨る地域間幹線系統の1系統あたり年間輸送人員 ねらい 「地域間幹線系統バス」	「地域間幹線系統」	P88と同じ	意見のとおり修正
346	中部運輸局	91	85	指標2-③ (地域公共交通網形成計画のみ策定する自治体は除く)	カッコ書きは削除してはどうでしょうか。	地域交通法の附則（令和2年6月3日法律第36号）第2条に、地域公共交通網形成計画は地域公共交通計画とみなす規定があるため。	() を削除
347	愛知運輸支局	91	85	指標2-③ (地域公共交通網形成計画のみ策定する自治体は除く)	カッコ書きは削除してはどうでしょうか。	地域交通法の附則（令和2年6月3日法律第36号）第2条に、地域公共交通網形成計画は地域公共交通計画とみなす規定があるため。	
348	交通対策課鉄道第2G	91	85	指標2-② 複数の市町村に跨る地域間幹線系統の1系統あたり年間輸送人員 現状値の設定 複数の市町村間を越境する地域間幹線系統の補助を受けている63系統のうち	複数の市町村間を越境する地域間幹線系統の補助を受けている64系統のうち	P30では64系統となっている令和6年度の数字とするなら63で正しいのですが、無視してください。	R6は63系統 そのままとします
349	交通対策課鉄道第2G	91	85	指標2-③ 地域公共交通計画を策定している市町村数 ねらい 「計画策定」	「計画策定」	誤植の修正	意見のとおり修正
350	交通対策課鉄道第2G	91	85	指標2-③ 地域公共交通計画を策定している市町村数 現状値の設定 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第41号）	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）	https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=419AC0000000059	「地域交通法」と表記
351	安城市	92	86	各指標の現状値と将来値	現状と将来の母数が違う値になっていますが、理由があるのでしょうか。		現在、公共交通会議を設置していない市町村があるためです。誤解を招くため分母の表記は削除
352	交通対策課鉄道第2G	92	86	指標2-④ 地域公共交通計画を策定している市町村数 数値目標 現状値（令和3年度実績）	数値目標 将来目標（令和8年度実績）	他の指標と統一	意見のとおり修正
353	瀬戸市	92	86	指標2-④ 地域公共交通会議を設置している市町村数の数値目標の2列目が「現状値（令和3年度実績）」と記載	前後の指標の同箇所を確認する限り、「将来目標（令和8年度）」と修正が必要かと思われます。	文言誤り	
354	東海市	92	86	指標2-4 数値目標に現状値が2つある。	片方は目標値では？	目標が定められていない。	
355	半田市	92	86	地域公共交通会議を設置している市町村数 令和5年度：51市町村/54市町村 令和3年度：54市町村/54市町村	令和3年度から令和5年度の間に、設置市町村数は3減少でよろしかったでしょうか。	ご確認をお願いします。	
356	中部運輸局	92	86	指標2-④ 地域公共交通を策定し、	地域公共交通計画を策定し、	脱字と思われるため。	意見のとおり修正
357	愛知運輸支局	92	86	指標2-④ 地域公共交通を策定し、	地域公共交通計画を策定し、	脱字と思われるため。	
358	交通対策課鉄道第2G	92	86	指標2-④ 地域公共交通計画を策定している市町村数 ねらい 地域公共交通を策定し、また計画的に推進していくためには、行政だけでなく・・・	地域公共交通計画を策定し、また計画的に推進していくためには、行政だけでなく・・・	文言追記	
359	東海北陸旅客船協会	92	86	指標2-⑥ 旅客船事業者（記載3か所）	旅客船事業者	誤字	意見のとおり修正
360	東海北陸旅客船協会	92	86	常滑市（記載2か所）	西尾市	常滑市に離島航路は無く西尾市の記載誤りでは	津エポータラインを想定しています
361	東海北陸旅客船協会	92	86	2市町/3市町	3市町/3市町	現状値の数値の確認が必要です	公共交通会議を設置している関係市町村、常滑市、田原市、南知多町のうち、旅客船事業者が参加しているのは田原市、南知多町
362	交通対策課鉄道第2G	92	86	指標2-④ 地域公共交通計画を策定している市町村数 現状値の設定 地域公共交通会議を策定し、運営している市町村数を位置付けます。	地域公共交通会議を設置し、運営している市町村数を位置付けます。	文言の修正	意見のとおり修正
363	中部運輸局	記載なし	巻末の一覧表	記載なし（計画と補助の運動化について）	今回の意見照会では、「計画」と「補助」の運動化に関する必要事項が記載されたものが添付されておりませんでしたので、運動化対応については参考資料として掲載される予定かと思っております。運動化対応については参考資料として掲載させていただきますよう、お願いいたします。	今回の意見照会では計画と補助の運動化に関するページは見受けられなかったため。	1月17日のバス対策部会において、位置付け申し出路線を協議したのち、1月31日の作業部会資料に反映させます。バス対策部会資料を作成した段階で相談させていただきます。
364	愛知運輸支局	記載なし	巻末の一覧表	記載なし（計画と補助の運動化について）	今回の意見照会では、「計画」と「補助」の運動化に関する必要事項が記載されたものが添付されておりませんでしたので、運動化対応については参考資料として掲載される予定かと思っております。運動化対応については参考資料として掲載させていただきますよう、お願いいたします。	今回の意見照会では計画と補助の運動化に関するページは見受けられなかったため。	
365	安城市	II 現状課題の整理		現状課題の整理について	現状の公共交通や地域特性、社会情勢等の整理はされていますが、愛知県として公共交通に対し実施した施策がどのようなものがあるのか、その結果、どのような効果をもたらしたのかを評価する項目が必要ではないでしょうか。その評価結果に基づき、実施施策の内容に反映することにより、より有効な施策となると思います。		
366	名古屋国道事務所	複数ページ		棒グラフの数値	数値がかぶらないように修正	棒グラフ内の数値が重なっており数値を讀むことが難しいため	文字のレイアウトを工夫します
367	名古屋市	全般		図がもう少し、見やすい（文字が潰れて等）と伝わりやすいかと思えます。			
368	東海市	全体的なグラフについて		記載されている回答比率の数字表示が潰れてしまっている。回答比率の合計が100%にならない箇所が見受けられる。表内のグラフが凡例や、頁番号、棒と被っている。縦書き表記と思われる箇所が複数潰れている。表内の字句が表示されていない。	sagyoubukai	見にくい。	
369	東海市	全体的な表記について		フォントやスペース等が統一されていない。記載内容に不要な番号の設定や謎の字句等が存在している。	確認して、修正してはいかかか。	見にくい。意味がわからない。	
370	津島市	全体的			名詞の「とりぐみ」は「取組み」や「取組み」ではなく「取組」と表記していることが多いように思いますので、「取組」の表記に統一したほうがよいと思います。	表記統一のため	名刺は「取組」動詞は「取組み」「取組む」に統一
371	津島市	全体的			「県民・住民」、「事業者・民間事業者」など、同じ意味でも表記が混在しているため、理由があって表記を分けているのであれば、表記を統一したほうがよいと思います。	表記統一のため	基本的に「県民」「事業者」に統一
372	名古屋タクシー協会	全体を通して		全体的に公共交通大変変化として、その最大の要因と思われるマーカーの推移と相関については特段記載が見当たらない様に思われること（P56、地域特性の整理にない）。また、マイカーにもその役割や期待されることも有るはずであり、特に愛知県においては公共交通を対象にした計画やマイカーとの共存は必要なことでもあり、もう少し踏み込んだ記載があっても良いように思われること。自治体別のマイカー普及率（人口当たりの保有台数）などあってもよさそうだが。	左記と同じ	先に同じ	データ取得が困難なものは評価指標としてなじまないと考えています。ご指摘の点については、今後の検討課題とさせていただきます。